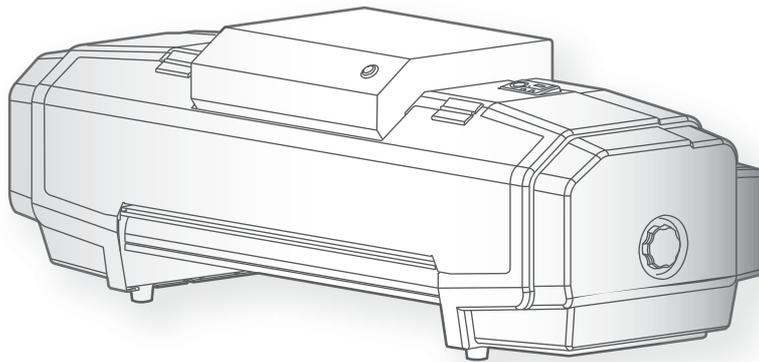


VJ-628MP

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本マニュアルでのプリンターのイラストについて

簡略化のため、専用スタンドを省略しているイラストがあります。



注 意

- ・作業場所は換気してください。
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。
頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所で休憩してください。
- ・吐き気などが続くときは医師の診断を受けてください。
- ・この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

第1章 基本的な使い方

はじめに	8
各部の名称.....	8
本製品のシステム構成.....	10
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法.....	12
MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法.....	13
MUTOH LFP Finder の起動方法.....	14
MUTOH Layer Editor の起動方法.....	14
ヘルプの表示方法.....	15
使用できるメディアの条件.....	16
ご使用上のお願い.....	17
電源のオンオフ.....	18
電源をオンにする.....	18
電源をオフにする.....	18
スリープモード.....	20
スリープモードの開始と終了.....	20
印刷する.....	23
メディアをセットする.....	23
画質調整.....	25
用紙送り補正.....	30
ノズルチェックとクリーニング.....	35
印刷を開始する.....	38
印刷の一時停止／再開.....	39
印刷のキャンセル.....	39
メディアの送り／巻き戻し.....	40
プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする.....	40
メディアのカット.....	41
操作パネルからカットする.....	41
プリンタードライバー／MSM からカットする.....	41
手でカットする.....	42
自動でカットする.....	42

第2章 くわしい使い方

ヘッド高さを変更する.....	44
加圧アームを個別に解除する.....	45

ブロアヒーターを手動でオンオフする	46
ブロアヒーター動作中にブロアヒーターをオフにしたい場合	46
印刷前にブロアヒーターをオンにしたい場合	46
くわしい設定方法	47
オートカットの設定	47
吸着ファンの設定	49
ヒーターの設定	50
カラーメンテナンスの設定	51
第3章 メンテナンス	
メンテナンスについて	54
インクカートリッジをかくはんする.....	55
メッセージの確認方法	55
インクカートリッジをかくはんする	56
インクの確認とインクカートリッジの交換	57
インク残量を確認する	57
インクカートリッジの交換が近づいたら.....	58
インク有効期限確認メッセージが表示されたら	59
インクカートリッジの交換	60
廃液タンクを空にする	62
デイリーメンテナンス	64
デイリーメンテナンスの流れ.....	64
デイリーメンテナンスの準備.....	65
デイリーメンテナンスを行う.....	67
印刷を継続する場合.....	73
ご使用にあわせたメンテナンス	76
ヘッドクリーニング.....	76
内部の清掃	77
消耗品の交換.....	78
フラッシングボックス用吸収材の交換	78
カッターの交換	80
クリーニングワイパーの交換.....	81
輸送.....	83
輸送するとき	83
ヘッド洗浄を行う.....	84
長期保存と初期充填	86

長期間使用しないときには.....	86
長期保存を行う.....	87
初期充填を行う.....	89

第4章 付録

困ったときには.....	92
メッセージ/エラーメッセージへの対応.....	92
メディアが詰まった場合.....	96
お問い合わせ先.....	97
本製品の仕様.....	98
作画領域.....	98
仕様一覧.....	99
改訂履歴.....	101

第 1 章 基本的な使い方

はじめに	8
各部の名称.....	8
本製品のシステム構成.....	10
プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法.....	12
MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法	13
MUTOH LFP Finder の起動方法	14
MUTOH Layer Editor の起動方法	14
ヘルプの表示方法	15
使用できるメディアの条件	16
ご使用上のお願い	17
電源のオンオフ	18
電源をオンにする	18
電源をオフにする	18
スリープモード.....	20
スリープモードの開始と終了	20
印刷する	23
メディアをセットする.....	23
画質調整	25
用紙送り補正	30
ノズルチェックとクリーニング	35
印刷を開始する	38
印刷の一時停止／再開.....	39
印刷のキャンセル	39
メディアの送り／巻き戻し.....	40
プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする	40
メディアのカット	41
操作パネルからカットする	41
プリンタードライバー／MSM からカットする	41
手でカットする	42
自動でカットする	42

各部の名称

プリンター本体（正面）

フロントカバー
メディアを取り付けるときや、メンテナンスを行うときなどに開きます。

ブローヒーター
温風を噴出してメディアの乾燥を促進させます。

メディア固定ハンドル
メディアの取り付けと取り外しを行うときに回します。

専用スタンド

廃液タンク
廃インクや使用後の洗浄液をためるタンクです。満タンになる前に、廃液を排出してください。

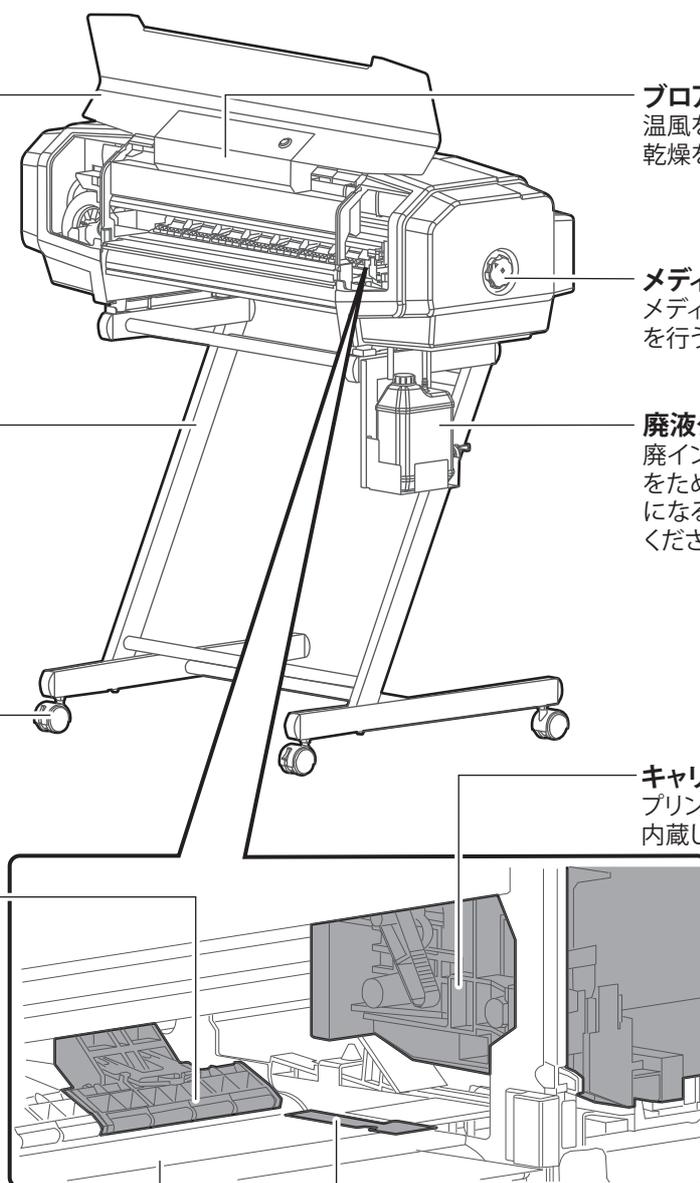
キャスター

キャリッジ
プリントヘッドとカッターを内蔵しています。

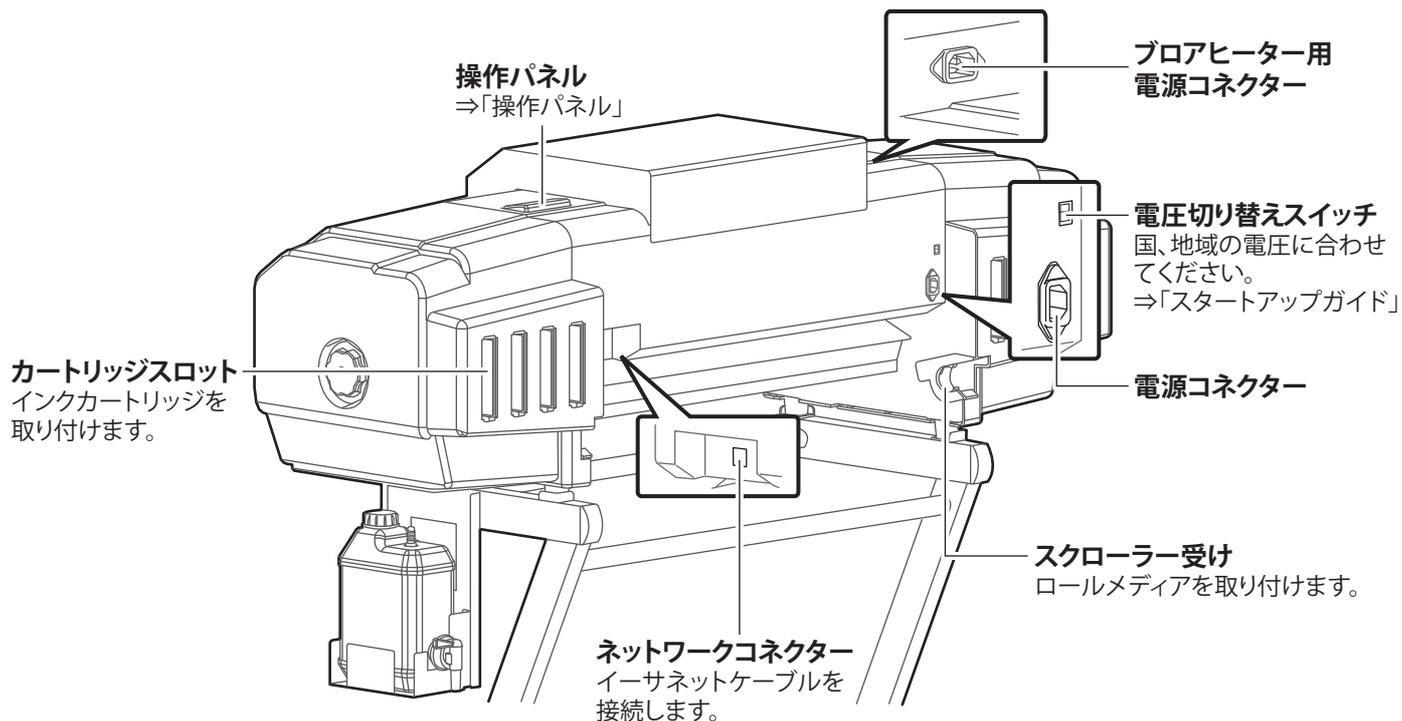
メディア加圧アーム
メディアをプラテンに押しあてつけます。メディア固定ハンドルと連動しています。

プラテン
この上でメディアが印刷されます。内部に吸着ファンとヒーターがあります。

メディア押さえプレート
メディアの両端に取り付けると、メディアの反りがある程度抑えられます。



プリンター本体（背面）



操作パネル

電源ボタン

電源オン状態のときは、青く点灯します。

[参考]

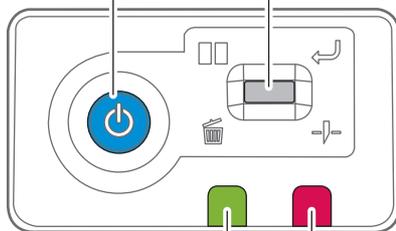
⏻ マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

データLED

緑の点滅によって、印刷データの受信・解析中を表示します。

エラーLED

赤の点灯や点滅によって、エラーや警告を表示します。
フロントカバーが開いているときや、メディア固定ハンドルが解除状態のときも点灯します。



オペレーションキー

状況によって、さまざまな機能になります。

印刷中：
(短押し) 印刷の一時停止 / 再開
(長押し) 印刷のキャンセル (データ削除)

印刷待機中：
(長押し) メディアのカット

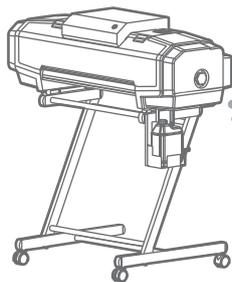
MSMとの連携時で、確定待ちのとき：
(短押し) 確定

ウォームアップ中：
(短押し) 印刷の強制開始

メディアフィード中：
(短押し / 長押し) フィードの停止

エラー発生中：
(短押し) ブザー停止

本製品のシステム構成



MUTOH LFP Finder

スタートアップウィザードご利用時に、ネットワーク上のプリンターを検索し、IPアドレスの設定を行います。
(通常は、MUTOH Status MonitorからIPアドレスを変更してください。)

主な機能:

- ・プリンターのIPアドレスの設定



Layout and Print Tool 2

MUTOH Layer Editorと組み合わせてレイヤー印刷が行えます。

主な機能:

- ・画像をレイアウト
- ・画像と印刷設定を1つのファイルに保存、再利用可能



MUTOH Layer Editor

プリンタードライバーとLayout and Print Tool 2のレイヤー印刷機能を向上させます。

主な機能:

- ・複数のデータをひとつの印刷データに変換
- ・レイヤー印刷データの再利用
- ・他の印刷ジョブの割り込みや誤操作の防止



プリンタードライバー

Windowsの各OSに対応したプリンタードライバーです。

主な機能:

- ・ホホワイトインクやバーニッシュ(クリアトップコート)に対応した『白印刷』機能を搭載
- ・MUTOH Layer Editorと連携した『レイヤー印刷』機能を搭載



MUTOH Status Monitor (MSM)

プリンタードライバーと連携し、プリンターの状態確認やメンテナンスを行います。また、MUTOH Club*1にユーザー登録すれば、常に最新のサービスが提供されます。

主な機能:

(一部の機能はMUTOH Clubへのユーザー登録とインターネットへの接続が必要です)

- ・ステータスマニター
- ・リモートパネル

*1 MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。

ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能:

- ・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- ・メディアプロファイルのダウンロード
- ・プリンター状態の確認
(MSMのプリンター情報提供サービス使用時)



インターネット



MUTOH Clubサーバー

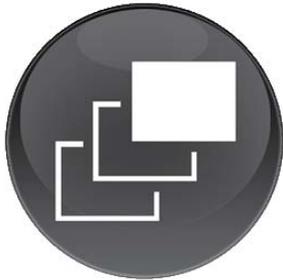
MUTOH Clubへ接続します。

<https://mutoh-club.com/mutoh/guser/>

Layout and Print Tool 2 と MUTOH Layer Editor の使い分け

本製品で印刷を行う場合、Layout and Print Tool 2 をご利用ください。

CDROM に同梱されている MUTOH Layer Editor とは以下のような違いがあります。

	Layout and Print Tool 2	MUTOH Layer Editor
		
ソフトウェアの目的	画像をレイヤー印刷します。 レイアウトの編集と保存が可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーからの出力を受信します。受信した印刷データを組み合わせ、レイヤー印刷を行います。 ・印刷を行うには Layout and Print Tool2 がグラフィックアプリケーションをご使用ください。
主な活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量生産や、印刷ごとに文字入れなどの追加作業を行う印刷に向いています。 ・大量生産では MUTOH Layer Editor の利用をおすすめします。 	プリンター用のデータ形式で印刷データを保存している為に印刷開始までが早く、繰り返し印刷を効率的に行えます。
画像 (PNG/TIFF など) を印刷	○	×
シングルレイヤー印刷	×	○
出力済みの印刷データに手を加える	×	○ (印刷スピード変更、吸着強度変更など)

Note

レイヤー印刷、印刷可能な画像フォーマットの種類については CDROM 付属の Layout and Print Tool 2、MUTOH Layer Editor のマニュアルを参照してください。

プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法

[1] Windows 11

[Windows] + [R] キーを押して、入力欄に「control」と入力します。

[OK] をクリックするか [Enter] キーを押して、[コントロールパネル]-[デバイスとプリンター]の順にクリックします。

Windows 10

[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックします。

開いた画面で [デバイスとプリンター] をクリックします。



Note

お使いのプリンタードライバーは、Windows 11 でも使用できます。

[2]



本製品のアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

- ・初回のみ「プリンタの構成」画面が開きます。
- ・2回目以降はプリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。

[3]



インク色数を選択し、[OK] をクリックします。

- ・プリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。



MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法

MUTOH Status Monitor は以下 MSM と記載します。

MSM の起動方法



Windows 11 / Windows 10

デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

- Windows 11 / Windows 10

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

MSM の表示方法



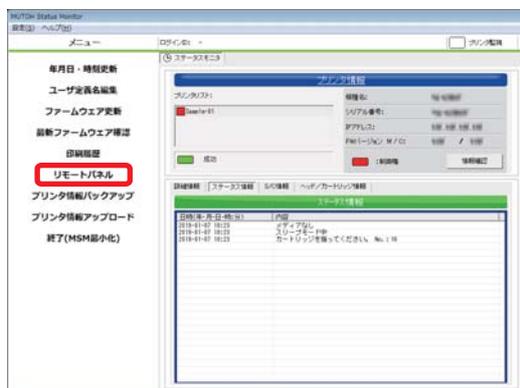
タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

リモートパネルの表示方法

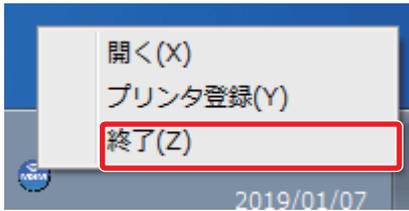
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

[リモートパネル] をクリックします。

- リモートパネルが開きます。



MSM の終了方法



タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

MUTOH LFP Finder の起動方法

MUTOH Status Monitor のプリンター登録機能で、プリンター検索を行うときに起動します。

Note

旧バージョンのセットアップウィザードをご利用された PC には、Valuejet Finder がインストールされています。この場合は、Valuejet Finder をアンインストールしてください。

MUTOH Layer Editor の起動方法

Windows 11 / Windows 10

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [MUTOH Layer Editor] の順にクリックします。

Note

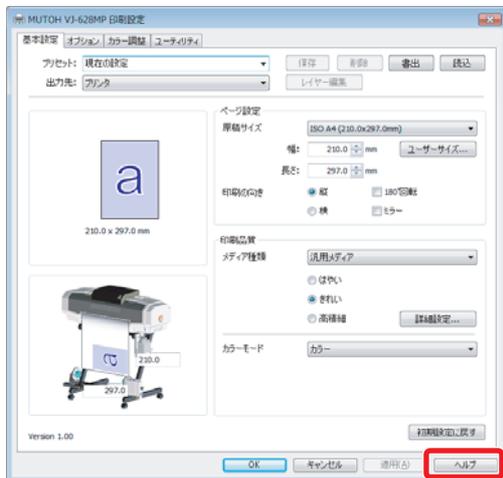
お使いの MUTOH Layer Editor は、Windows11 でも使用できます。

ヘルプの表示方法

プリンタードライバーと MUTOH LFP Finder はヘルプをご利用いただけます。

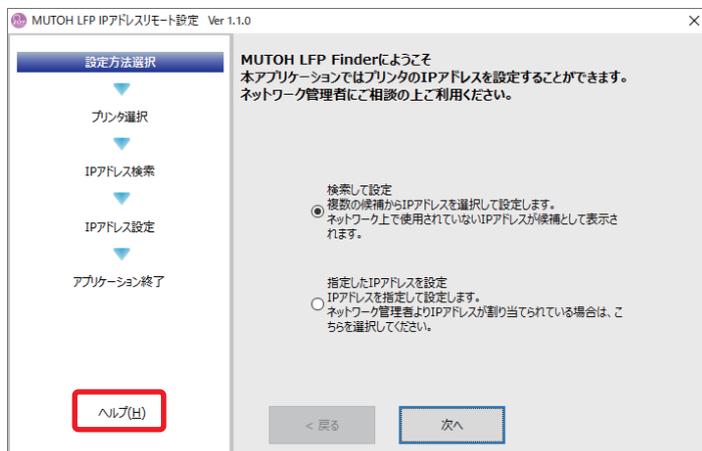
プリンタードライバー

プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、[ヘルプ] をクリックします。



MUTOH LFP Finder

MUTOH LFP Finder を起動し、[ヘルプ] をクリックします。



使用できるメディアの条件

本製品は、ロールメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

最大幅		630 mm (紙管>メディア幅の場合は紙管幅)
最大厚さ	ヘッド高さ Low 時	0.3 mm
	ヘッド高さ High 時	1.3 mm
ロール外径		150 mm
紙管径		2 インチまたは 3 インチ
重量		9 kg 以下

Important!

使用するメディアの厚さに合わせて、ヘッド高さを変更してください。
ヘッド高さを **High** に設定しているときに、厚さの薄いメディアに印刷を行うと、インクミストが発生して印刷品質に影響する恐れがあります。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディア取り扱い上のご注意

- ・ 温度・湿度によるメディアの伸縮にご注意ください。
未開封のメディアは、開封後、約 1 時間放置して環境に慣らしてください。
- ・ 折り目、傷、破れ、反り、巻き癖や、巻きずれのあるメディアは使用しないでください。
- ・ ロールメディアを本製品にセットした状態で、長時間放置しないでください。
癖がつき印刷に適さなくなることがあります。
長時間使用しない場合は、ロールメディアを取り外し、元の梱包箱に入れて保管してください。

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環します。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

インクカートリッジをかくはんしてください

インクカートリッジは使用する前にかくはんしてください。色安定性を保つために、インクカートリッジは定期的にかくはんする必要があります。放置するとインクカートリッジ内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

定期的を使用してください

本製品は1週間に1度は使用することをおすすめいたします。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- ・ 印刷前と後に、ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- ・ 1日の作業終了後に、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。
デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
 「デイリーメンテナンス」P.64
- ・ 廃液タンクの廃インクを定期的に排出してください。
- ・ 1か月に1度は内部の清掃を行ってください。

インクの取り扱いに注意してください

- ・ インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。
- ・ インクをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- ・ インクカートリッジを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- ・ インクカートリッジを落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。
- ・ インクを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

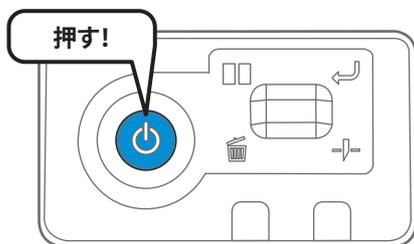
- ・ ユーザーによる交換が必要な部品：フラッシングボックス用吸収材、カッター、クリーニングワイパー
- ・ サービスマンによる交換が必要な部品：各種モーター、プリントヘッド

電源のオンオフ

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

[2]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

電源をオフにする

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

👉 「スリープモード」P.20

1週間に1度のお手入れが出来ない場合は「長期保存」を行ってください。

「長期保存」はヘッド洗浄から1ヶ月間（30日）まで放置することが出来ます。

👉 「長期保存を行う」P.87

📢 Important!

かならずデイリーメンテナンスを行ってから、本製品の電源をオフにしてください。

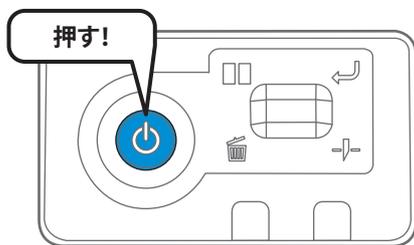
デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフにすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

[1] 印刷が終わっていることを確認します。

[2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

👉 「デイリーメンテナンスの準備」P.65

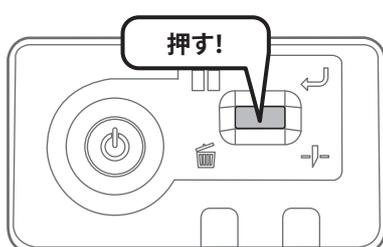
[3]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点滅します。

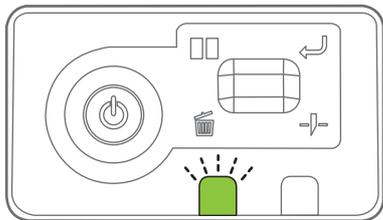
[4]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・自動でクリーニングを行います。
- ・キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[5]

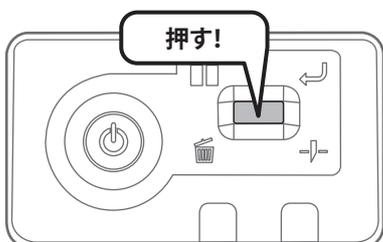


データ LED が点滅します。
・フロントカバーを開きます。

[6] デイリーメンテナンスを行います。

👉 「デイリーメンテナンスを行う」P.67

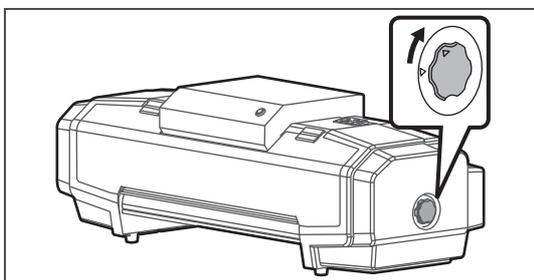
[7]



メンテナンス終了後、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[8]



メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

 Note

電源オフにかかわらず、本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。

スリープモード

本製品を使わない場合は、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

スリープモードを開始する前に、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。デイリーメンテナンスを行わないで、プリンターをスリープモードにした場合、プリントヘッドの故障の原因になります。

👉 「デイリーメンテナンス」P.64

Important!

- ・ 1週間に1度のお手入れが出来ない場合は「長期保存」を行ってください。
「長期保存」はヘッド洗浄から1ヶ月間（30日）まで放置することが出来ます。
👉 「長期保存を行う」P.87
- ・ スリープモードを1週間以上継続するような場合は、1週間に1度、以下のお手入れを行ってください。
 - ・ インクカートリッジをかくはんする。
👉 「インクカートリッジをかくはんする」P.56
 - ・ スリープモードを解除する。
 - ・ ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まりがないことを確認する。
 - ・ デイリーメンテナンスを行い、スリープモードにする。

スリープモードの開始と終了

1. スリープモードの開始方法

- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
- ・ フロントカバーが閉じていること。
 - ・ インクカートリッジの残量が十分にあること。
 - ・ インクカートリッジのかくはん要求がないこと。
 - ・ その他のエラーが発生していないこと。
 - ・ 廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

- [2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。
👉 「デイリーメンテナンスの準備」P.65
- [3] MSMのリモートパネルを起動します。
👉 「リモートパネルの表示方法」P.13



[スリープモード] - [スタート] をクリックします。

- ・ 確認ウィンドウが開きます。

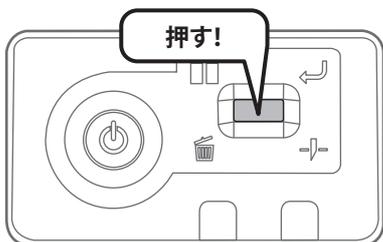
Note

プリンタードライバーからもスリープモードを開始できます。

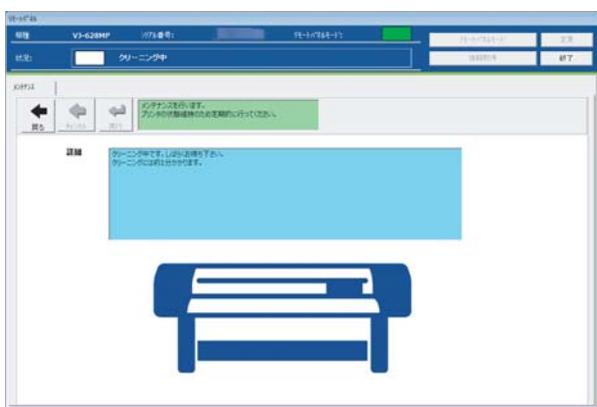
[5] [はい] をクリックします。



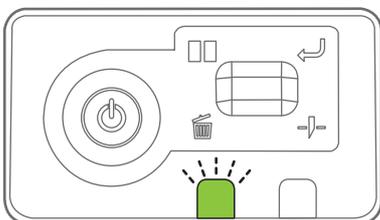
[6] 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。



[7] 自動でクリーニングを行います。
・クリーニング終了後、キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



[8] データ LED が点滅します。
・フロントカバーを開きます。



[9] デイリーメンテナンスを行います。
☞ 「デイリーメンテナンス」P.64
☞ 「VJ-628MP デイリーメンテナンスシート」

[10] メンテナンス終了後、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・キャリッジが元の位置に移動します。
・スリープモードに移行します。

 Note

スリープモード中は、データ LED が点滅します。

2. スリープモードの終了方法

[1]



スリープモードを終了するには、スリープモード中に [スリープモード] - [ストップ] をクリックします。

- ・確認ウィンドウが開きます。

[2]



[はい] をクリックします。

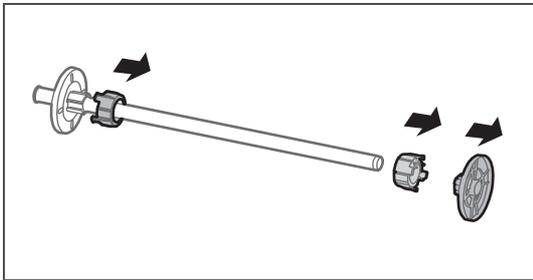
- ・スリープモードを終了します。

Note

本製品は、電源オフからの復帰時または印刷前に、自動でヘッドクリーニングや充填を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

メディアをセットする

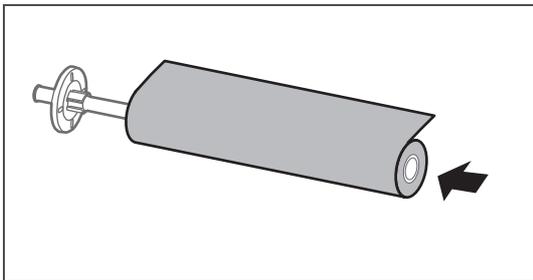
- [1] スクローラーから、3 インチアダプターとメディアストッパー（可動）を取り外します。



 Note

紙管径が 3 インチのロールメディアを使用するときは、3 インチアダプターをつけたままにしておいてください。

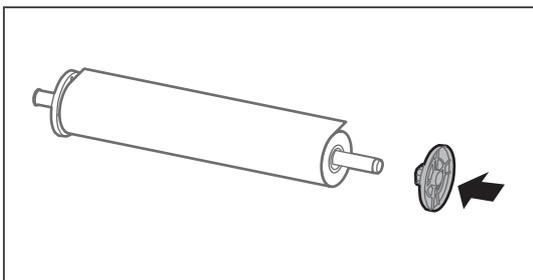
- [2] ロールメディアをスクローラーに取り付けます。



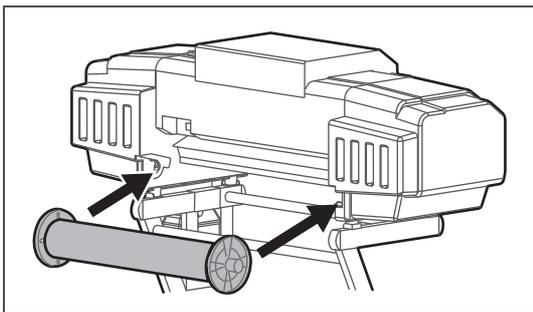
 Note

- ・メディアの巻き方向が、この図と同じになるように取り付けてください。
- ・メディアストッパー（固定）とすき間ができないように、ロールメディアを押し込んでください。

- [3] メディアストッパー（可動）をロールメディアとのすき間がなくなるまで押し込みます。



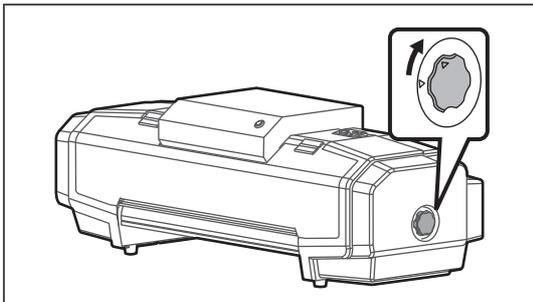
- [4] スクローラーをスクローラー受けに取り付けます。



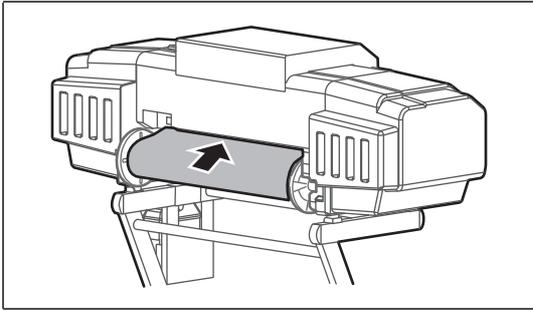
 Note

本製品を背面から見たときに、メディアストッパー（可動）が右側になるように取り付けてください。

- [5] メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

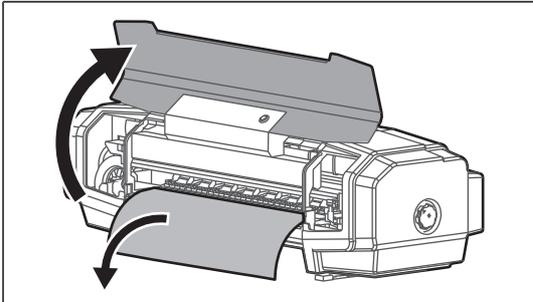


[6]



給紙スロットにロールメディアを通します。

[7]



フロントカバーを開きます。

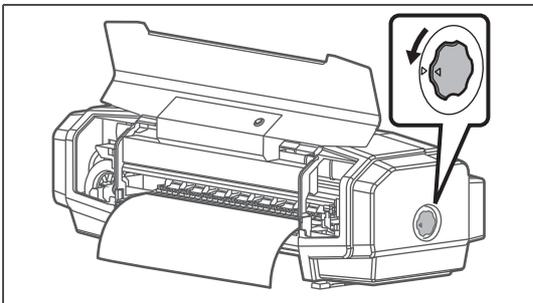
ロールメディアを本製品の front 側から引き出します。



Note

メディアがたるんだ場合は、スクローラーを巻き戻して、たるみをなくしてください。

[8]



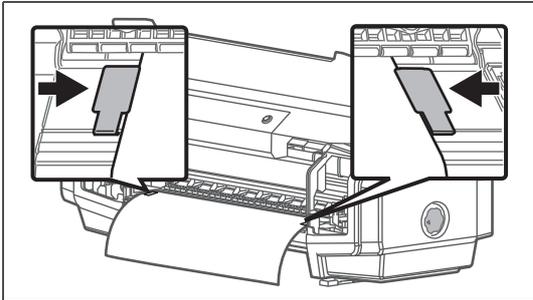
メディア固定ハンドルを回して、ロックします。



Note

印刷作業中は、巻取り装置の操作スイッチは、(巻取りを行うよう) 倒したままにしてください。

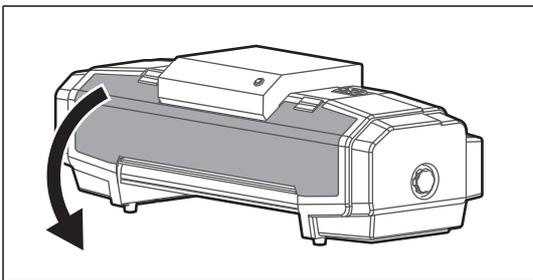
[9]



メディア押さえプレートをメディアにセットします。

・ プラテンの両側からスライドし、セットしてください。

[10]



フロントカバーを閉じます。

画質調整

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- ・ 本製品をはじめて使用するとき。
- ・ メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「[ノズルチェックとクリーニング](#)」P.35 に進んでください。

この調整は、双方向印刷時にできる印刷のズレを補正します。

双方向印刷について

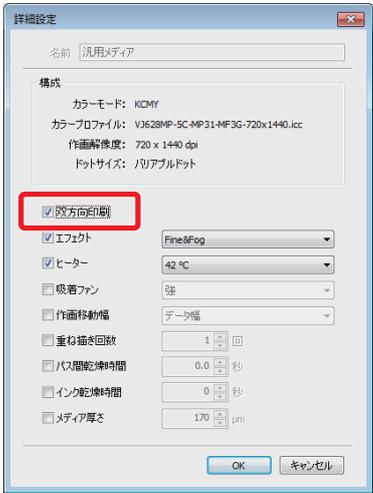
印刷中に、プリントヘッドはメディア上を往復します。このとき、往路と復路の両方で印刷することを「双方向印刷」と呼びます。双方向印刷をすると印刷速度が早くなりますが、印刷のつなぎ目にわずかなズレができます。「画質調整」は、このズレを補正します。

双方向印刷の設定方法

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

 「[プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法](#)」P.12

- [2]  「基本設定」タブの「詳細設定」をクリックします。

- [3]  「双方向印刷」にチェックを入れます。



Note

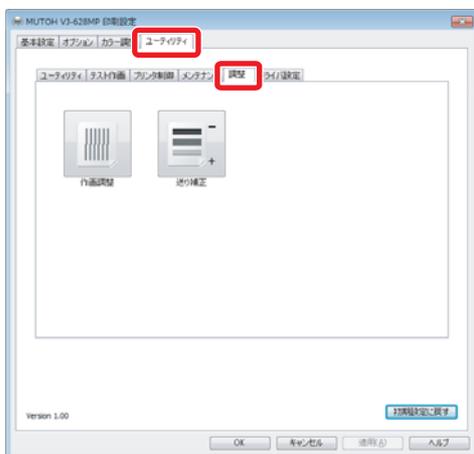
通常はチェックが入っています。

画質調整の手順

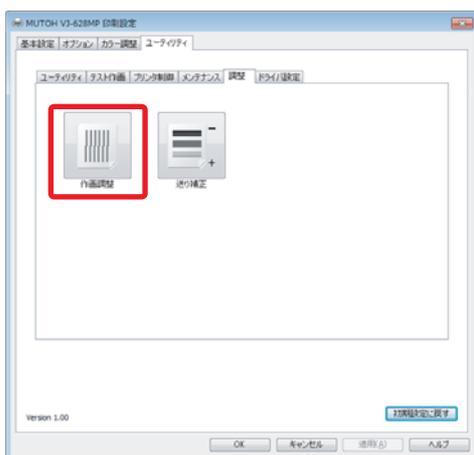
1. メディア厚さ

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

- [2] [ユーティリティ] タブの [調整] タブをクリックします。



- [3] [作画調整] をクリックします。
・MSMのリモートパネルが起動します。

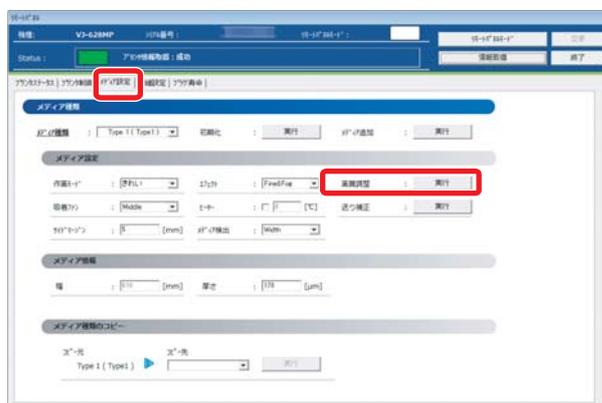


Note

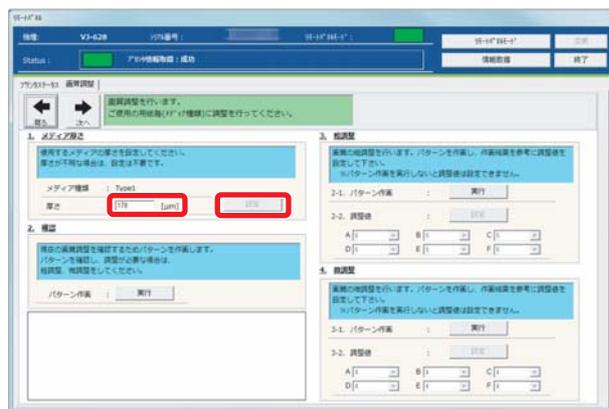
MSMは直接起動することができません。

☞ 「MSMの起動方法」P.13

- [4] [設定] タブの [作画調整] で [実行] をクリックします。
・[作画調整] ウィンドウが開きます。

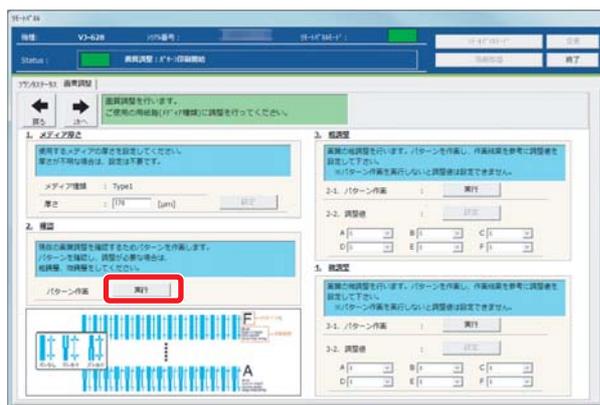


- [5] [1.メディア厚さ] で [厚さ] ([μm]) を入力し、[設定] をクリックします。
 ・セットしたメディアの厚さを入力してください。

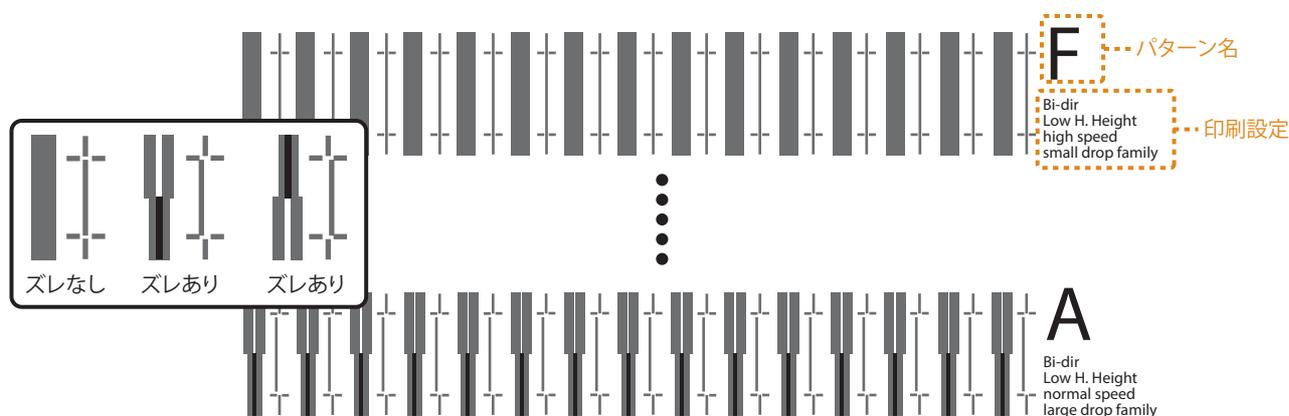


2. 画質の確認

- [1] [2.確認] で [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



- [2] パターンAからパターンFを見て、ズレがあれば「画質粗調整」P.28に進みます。
 ・下の例では、パターンAにズレがあります。

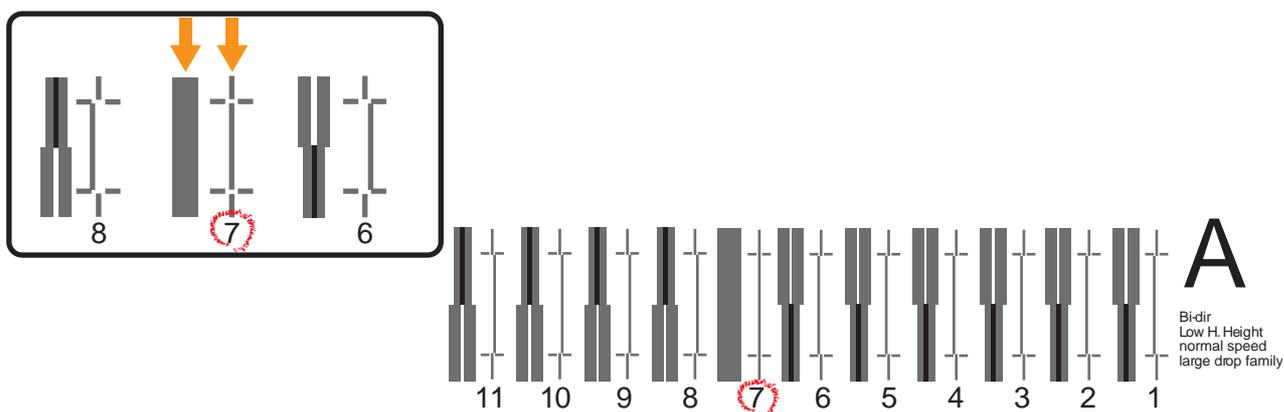


3. 画質粗調整

- [1] [3.粗調整] で [3-1パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



- [2] パターン A の中で、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
 ・メディアの両端と中央に同じパターン (A ~ F) が繰り返し印刷されています。



Note

同じパターン名でも、メディアの両端と中央ではズレがない番号が違います。
 その場合は、平均するともっともズレが少なく思える番号を探してください。

- [3] B から F のパターンについても同様に、番号に印をつけます。
 [4] 印をつけた値を、[3.粗調整] で、[3-2 調整値] の A から F に入力して、[実行] をクリックします。
 ・「画質微調整」P.29 に進みます。

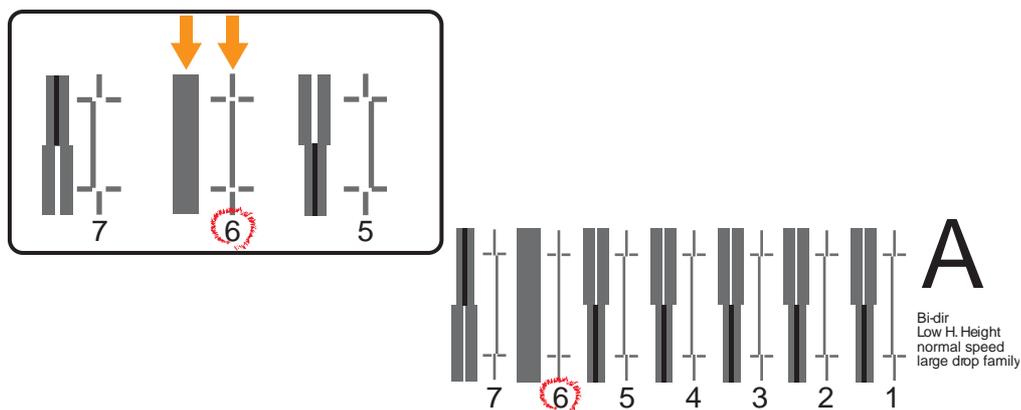


4. 画質微調整

- [1] [4. 微調整] で [4-1 パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターン A から F を印刷します。



- [2] 「3. 画質粗調整」と同様に、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
 ・ A から F のパターンについて行います。



- [3] 印をつけた値を、[4. 微調整] で、[4-2 調整値] の A から F に入力して、[実行] をクリックします。
 ・ 画質調整が完了しました。



用紙送り補正

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- ・ 本製品をはじめて使用するとき。
- ・ メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「[ノズルチェックとクリーニング](#)」P.35 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

Note

印刷結果に次のような不具合があるときも、用紙送り補正を行うと改善する場合があります。

- ・ 画像が重なっている。
- ・ 画像に白いスジが入っている。

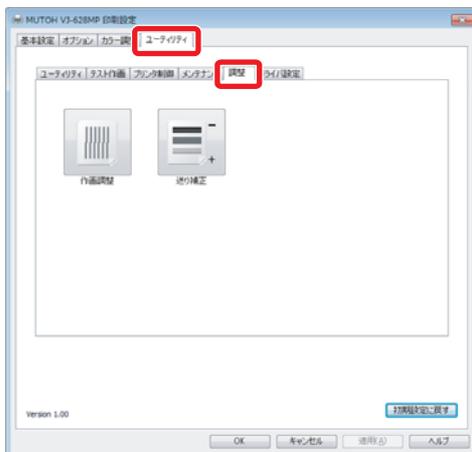
用紙送り補正の手順

1. 初期調整

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

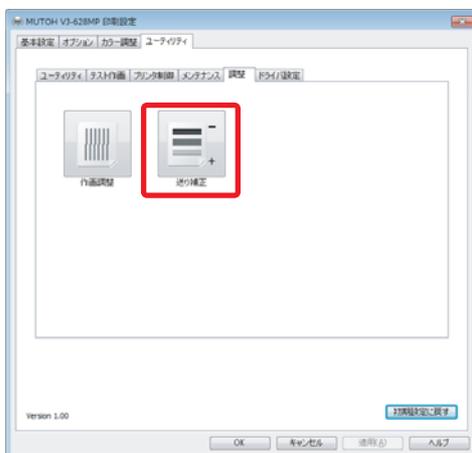
☞ 「[プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法](#)」P.12

- [2]



[ユーティリティ] タブの [調整] タブをクリックします。

- [3]



[送り補正] をクリックします。

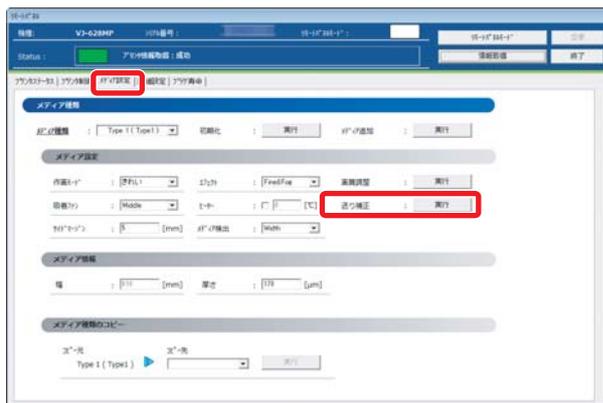
- ・ MSM のリモートパネルが起動します。

Note

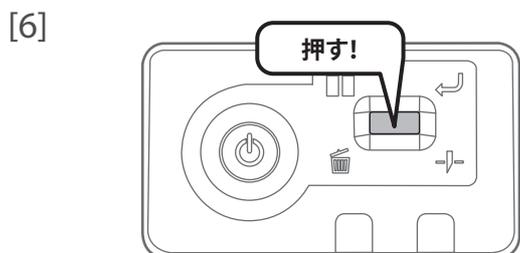
MSM は直接起動することができます。

☞ 「[MSM の起動方法](#)」P.13

- [4] [設定] タブの、[送り補正] で [実行] をクリックします。
 ・ [送り補正] ウィンドウが開きます。



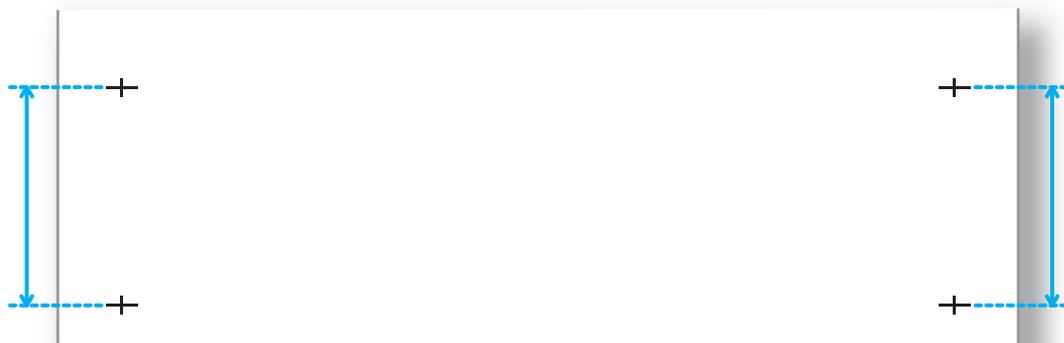
- [5] [1. 初期調整] で、[1-1. パターン作画] の長さ ([mm]) を選択し、[実行] をクリックします。
 ・ 用意した定規で測れる長さを選択してください。パターンを長くすると精度が向上します。
 ・ パターンを印刷します。



- メディアをカットします。
 ・ 操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
 ・ 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

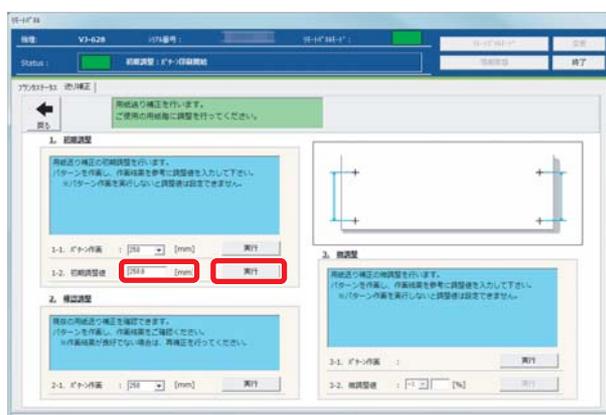
[7] 定規で、パターンの「+」間の長さを測ります。

- ・下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。



[8] 測った長さを、[1-2. 初期調整値] の長さ ([mm]) に入力し、[実行] をクリックします。

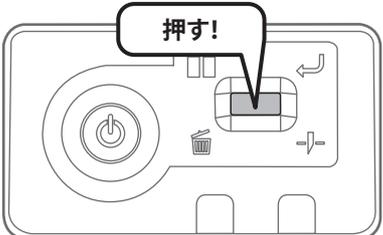
- ・初期調整値が保存されます。
- ・「[確認調整](#)」P.33 に進んでください。



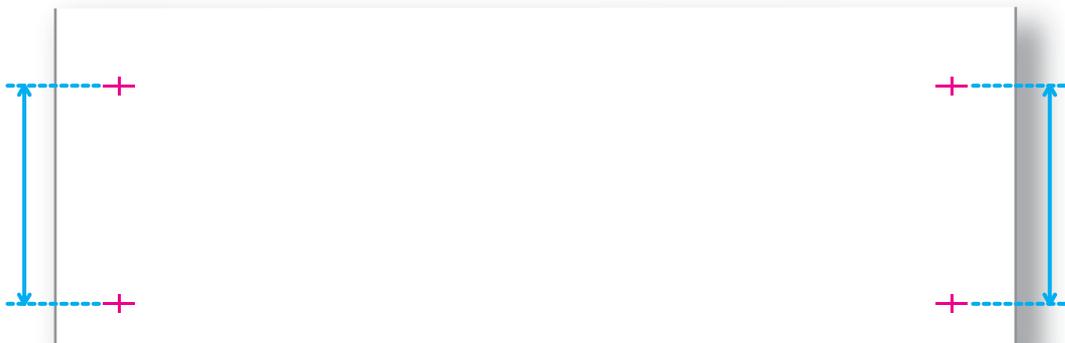
2. 確認調整

- [1] [2. 確認調整] で、[2-1. パターン作画] の長さ ([mm]) を選択し、[実行] をクリックします。
・パターンを印刷します。



- [2] メディアをカットします。
・操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

- [3] 定規などで、パターンの「+」間の長さを測ります。
・下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。



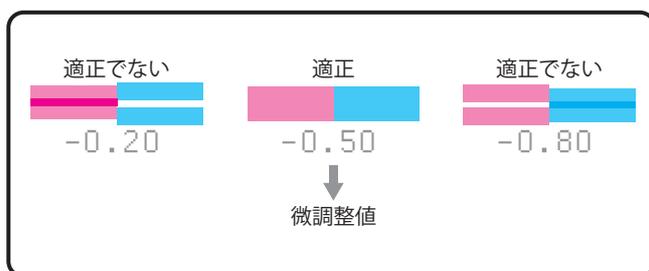
- [4] 測った長さを確認します。
・測った長さが、手順1で選択した長さと合っている場合は、「[微調整](#)」P.34に進んでください。
・測った長さが、選択した長さと合っていない場合は、「[初期調整](#)」P.30で再補正を行ってください。

3. 微調整

- [1] [3. 微調整] で、[3-1. パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



- [2] パターンを見て、微調整値を確認します。
 ・パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。
 ・そのパターンの下にある数字が、微調整値です。



- [3] 手順 2 で確認した値を、[3-2. 微調整値] に入力し、[実行] をクリックします。
 ・微調整値を保存します。
 ・用紙送り補正が完了しました。



 **Note**

手順 3 で保存した微調整値が、パターンの基準値になります。
 例えば微調整値に「-0.50」を保存した場合、もう一度パターンを印刷すると、中心のパターンの下にある数字は「0.00」から「-0.50」になり、左端は「+0.70」、右端は「-1.70」になります。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

1. ノズルチェックの手順

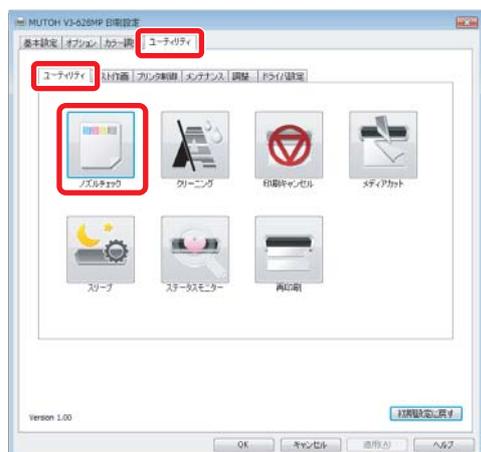
ホワイトインク不使用時

ホワイトインクをセットしていない場合は、以下の手順でノズルチェックをしてください。

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「[プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法](#)」P.12

- [2]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[ノズルチェック] をクリックします。

- ・確認ウィンドウが開きます。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

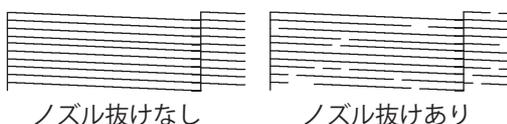
- [3]



[OK] をクリックします。

- ・パターンを印刷します。

- [4]



パターンを確認します。

- ・ノズル抜けがある場合は、「[クリーニングの手順](#)」P.37 に進みます。
- ・ノズル抜けがない場合は「[印刷を開始する](#)」P.38 に進みます。

ホワイトインク使用時

ホワイトインクをセットしている場合は、通常のノズルチェックに加えてホワイトインク用のノズルチェックが選択できます。

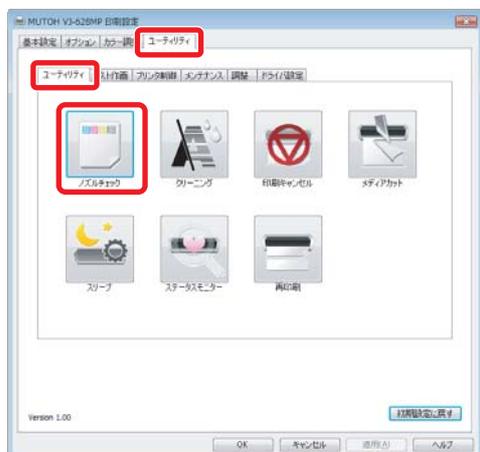
色背景（ノズルチェック B）を選択すると、ホワイトインクのノズルの状態が見やすいよう、一部のノズルチェックパターンの背景に色を付けて印刷します。

- ・ ホワイトのノズルの一部の背景が黒になります。
- ・ ホワイトのノズルの一部は背景なしになります。
- ・ それ以外のノズルは背景が白になります。

[1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

[2]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[ノズルチェック] をクリックします。

- ・ 選択ウィンドウが開きます。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

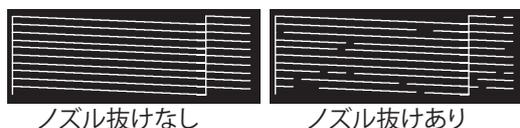
[3]



ノズルチェックの種類を選択して [実行] をクリックします。

- ・ 標準
通常のノズルチェックパターンを印刷します。
- ・ 色背景（ノズルチェック B）
ホワイトインク用のノズルチェックパターンを印刷します。

[4]

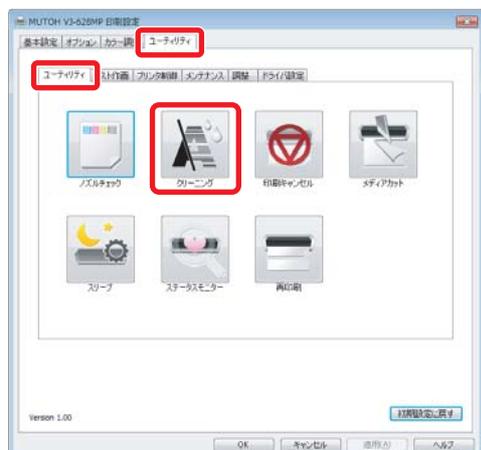


パターンを確認します。

- ・ 左図は「色背景（ノズルチェック B）」選択時のイメージです。
- ・ ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.37 に進みます。
- ・ ノズル抜けがない場合は「印刷を開始する」P.38 に進みます。

2. クリーニングの手順

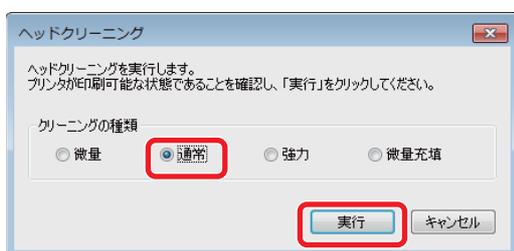
- [1] [ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[クリーニング] をクリックします。
- ・「ヘッドクリーニング」ウィンドウが開きます。



Note

MSMのリモートパネルでも同じことができます。

- [2] [通常] を選択して、[実行] をクリックします。
- ・クリーニングを開始します。



- [3] もう一度、ノズルチェックを行います。

👉 [「ノズルチェックの手順」P.35](#)

- ・ノズル抜けがなおらない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。「微量」「強力」「微量充填」「初期充填」については、「[ヘッドクリーニング](#)」P.76を参照してください。

印刷を開始する

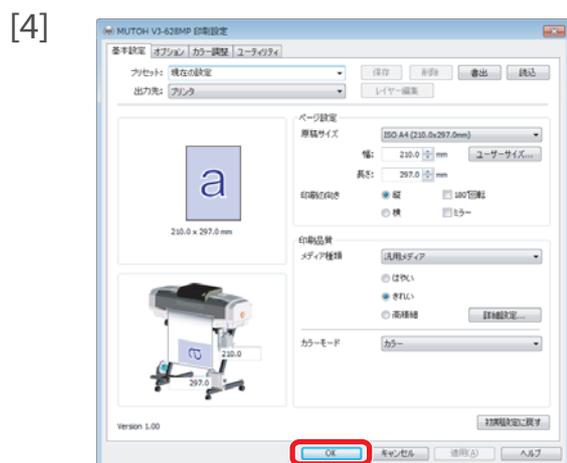
ここではプリンタードライバーから印刷する方法を説明します。

- [1] 印刷を実行するアプリケーションソフトで印刷データを開きます。
- [2] アプリケーションソフトで本製品のプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。



印刷設定を行います。

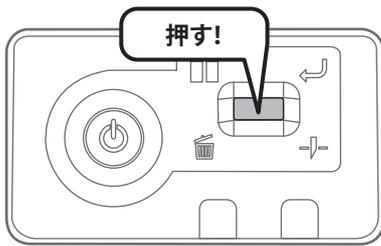
- ・「原稿サイズ」「印刷の向き」「印刷品質」を設定します。



[OK] をクリックします。

- [5] 印刷を実行します。
- [6] メディアをカットします。
👉 [「メディアのカット」P.41](#)

印刷の一時停止／再開



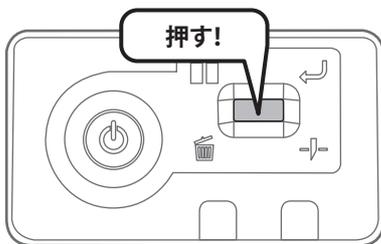
- 印刷中に、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
- ・印刷が一時停止します。
 - ・もう一度オペレーションキーを押すと、印刷が再開します。

Note

- ・本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- ・印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。
👉 [「印刷のキャンセル」P.39](#)

印刷のキャンセル

操作パネルから印刷をキャンセルする



- 印刷中に、操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
- ・印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
 - ・本製品に送信された印刷データを削除します。

プリンタードライバー／MSM から印刷をキャンセルする

- [1] 印刷中に、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

👉 [「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12](#)

- [2] [ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[印刷キャンセル] をクリックします。

- ・MSMのリモートパネルが起動します。
- ・「確認」ウィンドウが開きます。

Note

MSMは直接起動することができます。

👉 [「MSMの起動方法」P.13](#)

- [3] [はい] をクリックします。
- ・印刷をキャンセルします。

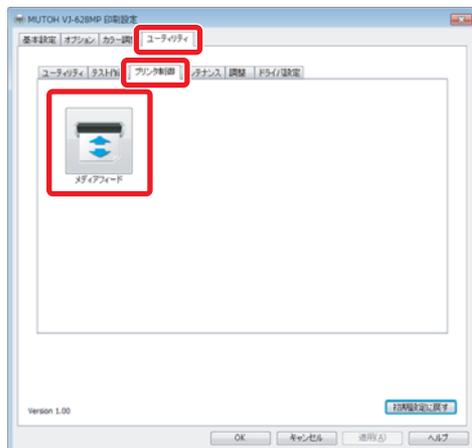
メディアの送り／巻き戻し

プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

- [2]



[ユーティリティ] タブの [プリンタ制御] タブで、[メディアフィード] をクリックします。

- ・MSMのリモートパネルが起動します。



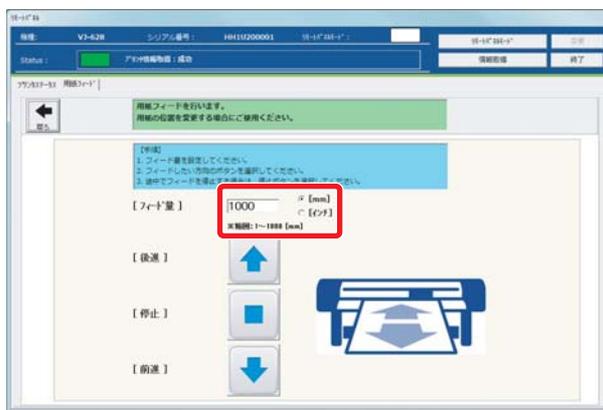
Note

MSMは直接起動することができます。

☞ 「MSMの起動方法」P.13

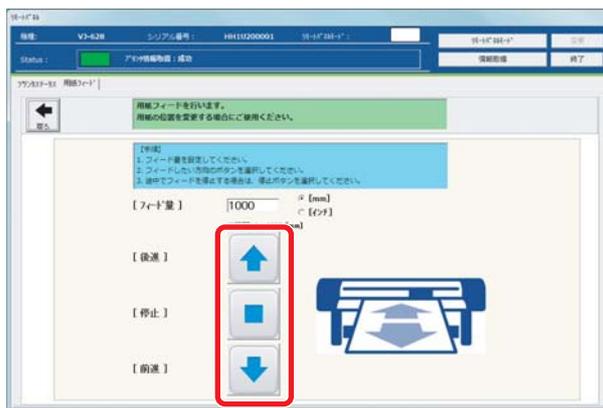
- [3] [フィード量] を入力します。

- ・[フィード量] の単位は、[mm] と [インチ] から選択できます。
- ・[フィード量] に入力した長さのメディアを送り／巻き戻しします。



- [4] [前進] / [後進] をクリックすると、メディアの送り／巻き戻しをします。

- ・送り／巻き戻し動作中に [停止] をクリックすると、動作を停止します。
- ・操作パネルのオペレーションキーを押しても、動作を停止します。

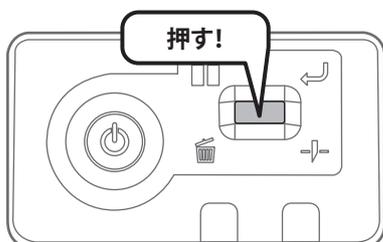


メディアのカット

操作パネルからカットする

[1] 印刷が終了していることを確認します。

[2]



操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

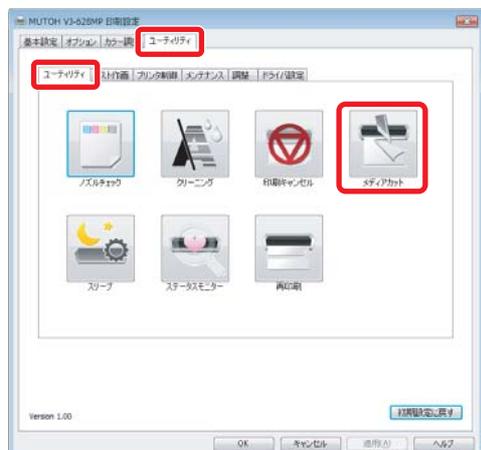
プリンタードライバー／MSM からカットする

[1] 印刷が終了していることを確認します。

[2] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

[3]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[メディアカット] をクリックします。

- ・MSMのリモートパネルが起動します。
- ・「確認」ウィンドウが開きます。

Note

MSMは直接起動することができます。

☞ 「MSMの起動方法」P.13

[4]



[はい] をクリックします。

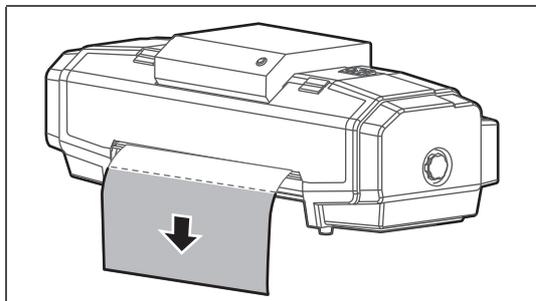
- ・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

手でカットする

本製品に内蔵されたカッターでカットできないメディアは、以下の手順でカットしてください。

[1] 印刷が終了していることを確認します。

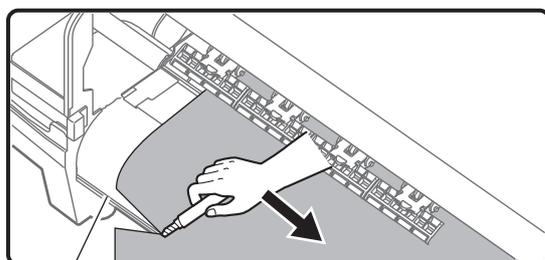
[2]



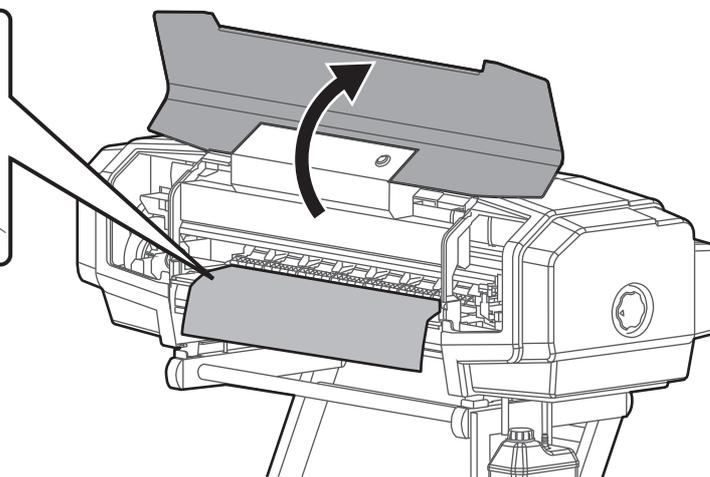
印刷結果をカットできる位置まで、メディアを送ります。

☞ 「メディアの送り／巻き戻し」P.40

[3] フロントカバーを開き、市販のカッターでメディアをカットします。
・メディアカット溝に沿って、カットしてください。



メディアカット溝



⚠ 注意



印刷終了直後は、メディアガイドが高温になっています。
メディアガイドが十分に冷めてから作業を行ってください。

[4] フロントカバーを閉じます。

自動でカットする

本製品は、印刷が終了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。
設定方法は以下をご覧ください。

☞ 「オートカットの設定」P.47

第2章 くわしい使い方

ヘッド高さを変更する	44
加圧アームを個別に解除する	45
ブローヒーターを手動でオンオフする	46
ブローヒーター動作中にブローヒーターをオフにしたい場合	46
印刷前にブローヒーターをオンにしたい場合	46
くわしい設定方法	47
オートカットの設定	47
吸着ファンの設定	49
ヒーターの設定	50
カラーメンテナンスの設定	51

ヘッド高さを変更する

メディアが反っていたり、インクを大量に使う印刷をするときは、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、プリントヘッドの高さを高くすると改善する場合があります。

プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。

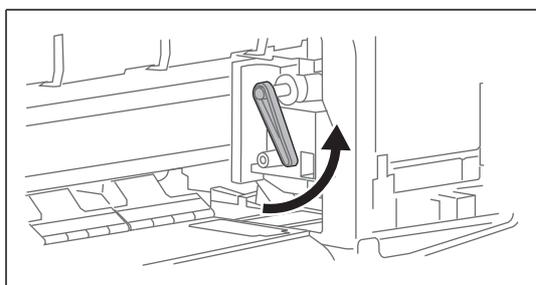
Note

- ・メディアが反っていると、浮き上がっている部分がプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。
- ・インクを大量に含んだメディアがふやけて浮き上がると、プリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。

手順

[1] フロントカバーを開きます。

[2]



レバーを上げて、ヘッド高さを高くします。

[3] フロントカバーを閉じます。

[4] 画質調整を行います。

 「画質調整」P.25

Important!

印刷中にプリントヘッドの高さを変更しないでください。

加圧アームを個別に解除する

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、メディアの両端を押さえている加圧アームを解除すると改善する場合があります。

加圧アームを個別に解除したときは、かならず用紙送り補正を行ってください。

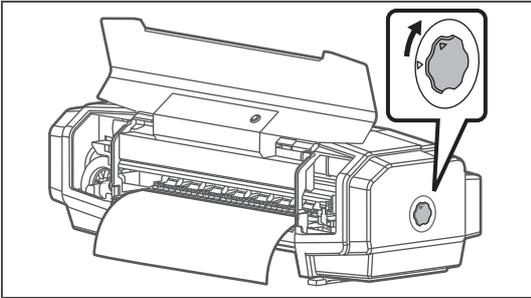
Note

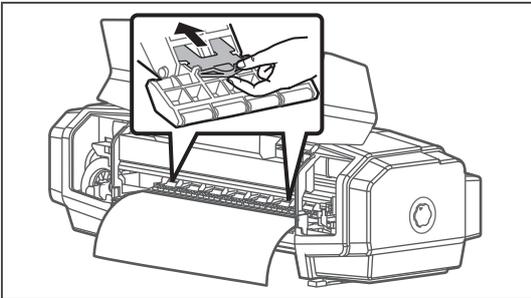
- ・ 薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。メディア両端の加圧アームを解除するとシワの防止に効果があります。
- ・ 薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めることも、シワの防止に効果があります。

👉 「吸着ファンの設定」P.49

手順

[1] フロントカバーを開きます。

[2]  メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

[3]  メディアの両端にある加圧アームを解除します。
・ 解除スイッチを奥に押し込むと解除できます。

[4] フロントカバーを閉じます。

[5] 用紙送り補正を行います。

👉 「用紙送り補正」P.30

Note

メディアの汚れがなくなるときは、解除する加圧アームの数を増やすと改善する場合があります。そのとき加圧アームは左右均等の数を解除してください。

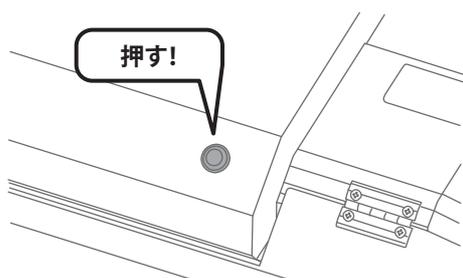
ブローヒーターを手動でオンオフする

印刷終了後にブローヒーターをオフにしたい場合や、印刷前にプリンター内を温めておきたい場合、手動でブローヒーターのオンオフを行うことができます。

ブローヒーター動作中にブローヒーターをオフにしたい場合

[1] 印刷が終わっていることを確認します

[2]



ブローヒーターの操作スイッチを 3 秒以上長押しします。

- ・ブローヒーターがオフになります。(操作スイッチが消灯します)

Note

再びブローヒーターをオンにする場合は、ブローヒーターの操作スイッチを 3 秒以上長押しします。

Important!

ウォームアップ中や印刷中にブローヒーターをオフにしないでください。

ウォームアップ中や印刷中にブローヒーターをオフにした場合、印刷精度は保証できません。

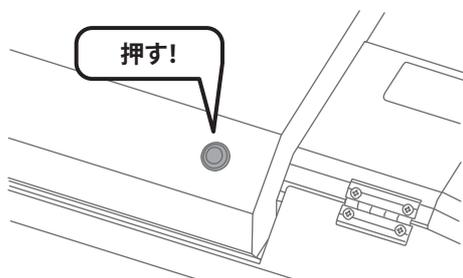
印刷前にブローヒーターをオンにしたい場合

スリープモード中にブローヒーターをオンにすることで、ブローヒーターのウォームアップと同時に、プリンターがスリープモードから復帰します。

印刷データ受信から印刷開始までの時間短縮が期待できます。

[1] 本製品が、スリープモード中であることを確認します。

[2]



ブローヒーターの操作スイッチを 3 秒以上長押しします。

- ・ブローヒーターがウォームアップを開始します。(操作スイッチが点滅します)
- ・プリンターがスリープモードから復帰します。

くわしい設定方法

ご使用に合わせて、本製品の設定を変更することができます。

ここで紹介する機能はごく一部です。

各ソフトの使用方法は、ソフトのヘルプまたはマニュアルをご覧ください。

 [「ヘルプの表示方法」P.15](#)

オートカットの設定

印刷が完了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。
メディアの幅、厚さ、材質などに合わせて設定します。

Note

用紙によっては、カットできない場合があります。その場合は手動でカットしてください。

手順

- [1] MSM のリモートパネルを起動します。
 [「リモートパネルの表示方法」P.13](#)
- [2] [メディア設定] タブの [メディア検出] メニューで [オフ] 以外を選択します。



- [3] [詳細設定] タブの [排紙モード] メニューで [オートカット] を選択します。



[4] [カット方法] メニューからカット方法を選択します。



[カット方法] には次のモードがあります。

- | | |
|------------|---|
| 1 度切り 2 段階 | 「1 度切り 3 段階」よりも少ない工程でカットします。
幅が狭めのメディアに適しています。 |
| 1 度切り 3 段階 | 通常はこのカット方法を使用します。 |
| 2 度切り 2 段階 | 「1 度切り 2 段階」ではカットできない場合に設定します。
幅が狭めのメディアに適しています。 |
| 2 度切り 3 段階 | 「1 度切り 3 段階」ではカットできない場合に設定します。 |

[5] [カット圧] メニューからカットの強さを [強い] [弱い] から選択します。
・「弱い」は薄いメディアなどに使用します。



[6] [変更] をクリックします。
・設定が本製品に反映されます。



吸着ファンの設定

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めると、シワの防止やメディア詰まりの防止に効果があります。

手順

[1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

[2] [基本設定] タブの [詳細設定] をクリックします。



[3] [吸着ファン] メニューで [中]、[弱] から選択します。

Note

- チェックボックスのチェックを外すと、プリンター本体にすでに登録されている設定を優先します。
- MSMのリモートパネルでも同じことができます。
[メディア設定] タブの [吸着ファン] メニューで設定します。



[4] [OK] をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。



ヒーターの設定

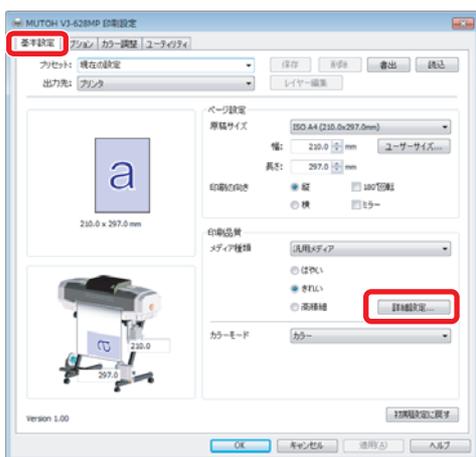
ヒーターは、印刷の前後などにメディアを温め、画質を向上させたり、乾燥を早める機能があります。メディアの厚さや素材に合わせて、ヒーターの設定を変更すると、よりよい結果を得ることができます。

手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

- [2] [基本設定] タブの [詳細設定] をクリックします。



- [3] [メディア設定] タブの [ヒーター] メニューで、温度を入力します。

- ・ オフまたは 30℃～45℃の間で設定できます。
- ・ 最適な温度はメディアによって異なりますので、テスト印刷を行ってください。

Note

- ・ チェックボックスのチェックを外すと、プリンター本体にすでに登録されている設定を優先します。
- ・ MSMのリモートパネルでも同じことができます。
[メディア設定] タブの [ヒーター] メニューで設定します。

- [4] [OK] をクリックします。

- ・ 設定が本製品に反映されます。



カラーメンテナンスの設定

使用されない状態が一定時間継続した後に印刷を行う場合、プリンターの性能維持のために、一定量のインクを排出します。

色合いの変化が気になる場合は、設定をオンにしてください。

色合いの変化が改善しない場合は、[実行] をクリックするとカラーメンテナンスが開始されます。

Important!

本製品を使わない場合は、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしなないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

👉 「スリープモード」P.20

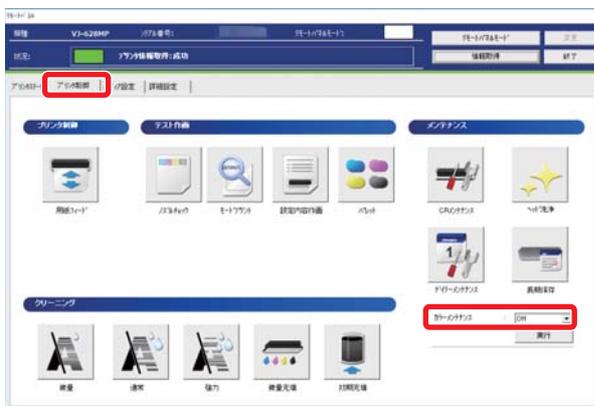
Note

カラーメンテナンス設定をオンにすると、通常のスリープモード、または電源オフからの復帰時に比べて、多くのインクを消費します。

また、[実行] をクリックすると、カラーメンテナンスが開始され、かなり多くのインクを消費します。

電源オフからの復帰時または印刷前にカラーメンテナンスを行う場合の手順

- [1] MSMのリモートパネルを起動します。
👉 「リモートパネルの表示方法」P.13
- [2] [プリンタ制御] タブをクリックします。
[カラーメンテナンス] の設定をオンにします。



任意でカラーメンテナンスを行う場合の手順

- [1] MSMのリモートパネルを起動します。
☞ 「リモートパネルの表示方法」P.13
- [2] [プリンタ制御] タブをクリックします。
[カラーメンテナンス] の [実行] をクリックします。
・ カラーメンテナンスが開始されます。



第3章 メンテナンス

メンテナンスについて	54
インクカートリッジをかくはんする.....	55
メッセージの確認方法.....	55
インクカートリッジをかくはんする.....	57
インクの確認とインクカートリッジの交換	58
インク残量を確認する.....	58
インクカートリッジの交換が近づいたら	59
インク有効期限確認メッセージが表示されたら.....	60
インクカートリッジの交換.....	61
廃液タンクを空にする	63
デイリーメンテナンス	65
デイリーメンテナンスの流れ	65
デイリーメンテナンスの準備	66
デイリーメンテナンスを行う	68
印刷を継続する場合	74
ご使用にあわせたメンテナンス	77
ヘッドクリーニング	77
内部の清掃.....	78
消耗品の交換.....	79
フラッシングボックス用吸収材の交換	79
カッターの交換.....	81
クリーニングワイパーの交換	82
輸送.....	84
輸送するとき.....	84
ヘッド洗浄を行う	85
長期保存と初期充填	87
長期間使用しないときには.....	87
長期保存を行う	88
初期充填を行う	90

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

毎日の作業の開始前後	「インクカートリッジをかくはんする」P. 55 「ノズルチェックとクリーニング」P. 35
毎日の作業の終了後	「デイリーメンテナンス」P. 64
ご使用に合わせて	「ヘッドクリーニング」P. 76 「インクカートリッジの交換」P. 60 「廃液タンクを空にする」P. 62 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 78 「カッターの交換」P. 80 「内部の清掃」P. 77 「ヘッド洗浄を行う」P. 84
6か月に1度	「クリーニングワイパーの交換」P. 81
1週間以上使用しないとき	1週間に1度の「ヘッドクリーニング」P. 76

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- ・エマージェンシーモード状態が繰り返し発生した。
- ・各種モーター、プリントヘッドの寿命を知らせるメッセージが MSM に表示された。

 「メッセージ／エラーメッセージへの対応」P. 92

 「お問い合わせ先」P. 97

インクカートリッジをかくはんする

インクの沈殿・凝固を防ぐため、インクカートリッジを次の場合にかくはんしてください。

- ・ 毎日の作業の開始前と作業後
- ・ 操作パネルのエラーランプが点灯し、MSMの「ステータス情報」に次のメッセージが表示されたとき「カートリッジを振ってください No.**」(**はカートリッジスロットの番号)

Important!

メッセージが表示されたときは、インクカートリッジをかくはんしてください。かくはんするまで、プリンターが動作しません。

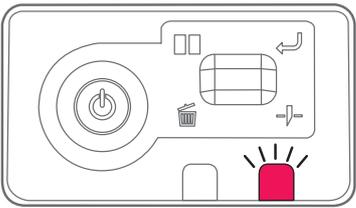
注意



インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

メッセージの確認方法

手順

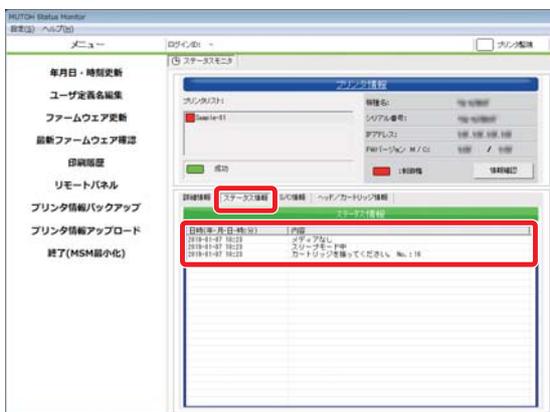
- [1]  操作パネルのエラーランプが点灯していることを確認します。

- [2] MSMを起動します。

 「MSMの起動方法」P.13

- [3] [ステータス情報]を確認します。

- ・ 例えば「カートリッジを振ってください。No.34」と表示されている場合は、スロット番号3と4のインクカートリッジをかくはんしてください。

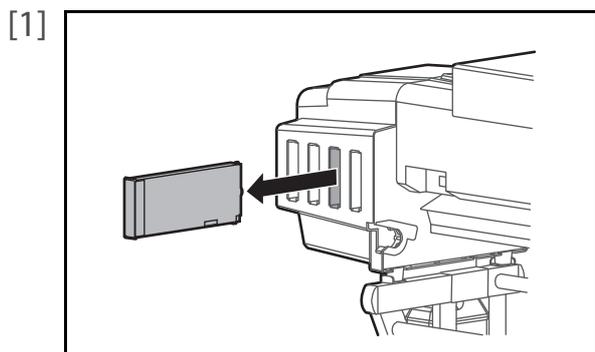


Note

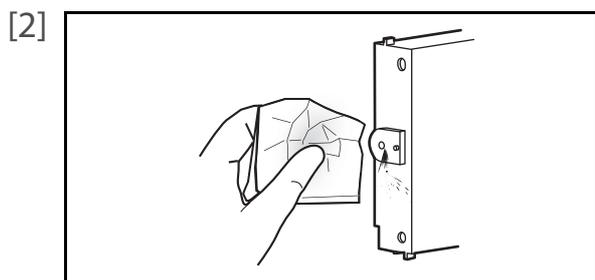
- ・ スロット番号は、本製品背面のインク色表示ラベルで確認できます。
- ・ MSMのリモートパネルを起動している場合は、[プリンタステータス] - [ステータス情報]でも同様に確認できます。

インクカートリッジをかくはんする

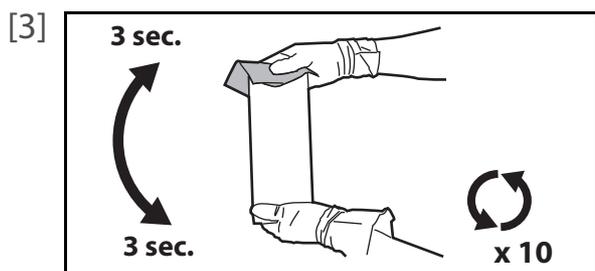
手順



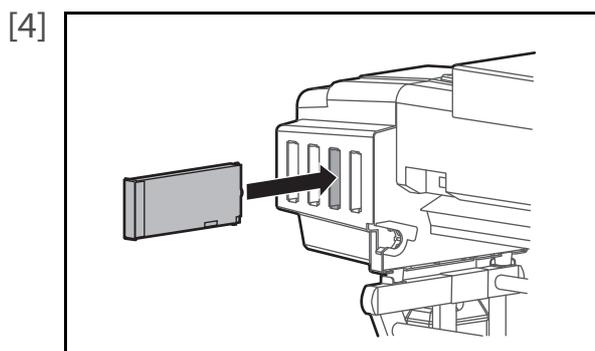
- ・プリンターの電源がオンになっていることを確認します。
- ・付属のポリエチレン手袋をはめ、インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。



プリンター付属のペーパータオルで、インクカートリッジのプリンター差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。



- ・ペーパータオルでインクカートリッジの差し込み口を押えながら、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・これを10回繰り返します。



インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付けます。

Important!

カートリッジを戻す際は、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。

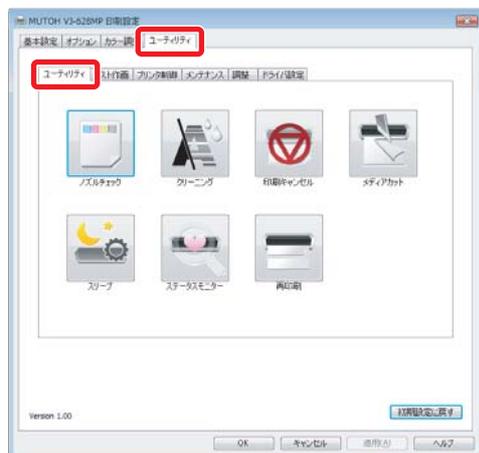
インクの確認とインクカートリッジの交換

インク残量を確認する

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」 P.12

- [2] [ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブをクリックします。



- [3] [ステータスモニター] をクリックします。

・ MSM のリモートパネルが開きます。

Note

MSM は直接起動することができません。

☞ 「MSM の起動方法」 P.13

- [4] [プリンタステータス] タブの、[インク情報] を確認します。

・ インクが減ると、色つきの目盛りが減っていきます。

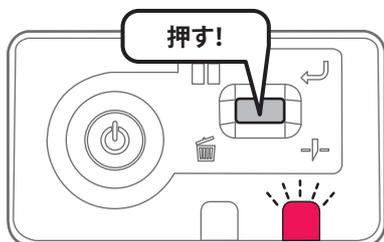


インクカートリッジの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

[1]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・ブザーが停止します。



Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

[2]

交換が近づいたインクカートリッジを確認します。

- ・[ステータス情報] も確認します。



[3]

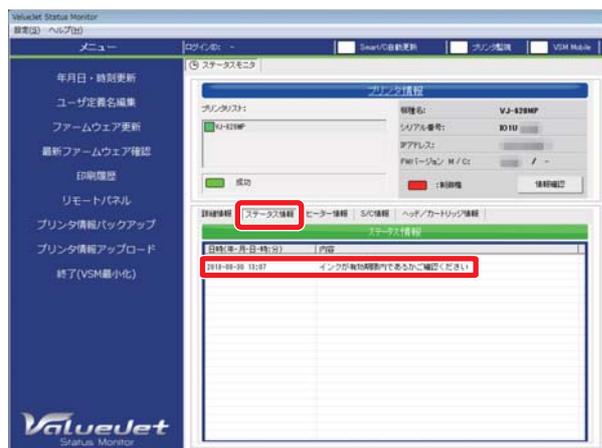
交換用インクカートリッジを用意します。

インク有効期限確認メッセージが表示されたら

インクを使い始めて一定期間が経過すると、MSM 上に有効期限を確認するメッセージが表示され、操作パネルのエラー LED が点滅します。

手順

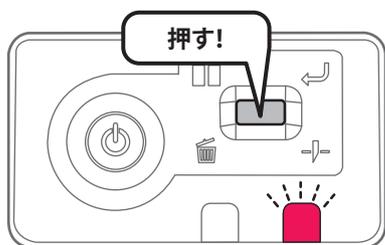
- [1] [ステータス情報] を確認します。
以下のメッセージが表示されます。
・「インクが有効期限内であるかご確認ください」



Note

MSM のリモートパネルを起動している場合は、[プリンタステータス] - [ステータス情報] でも同様に確認できます。

[2]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

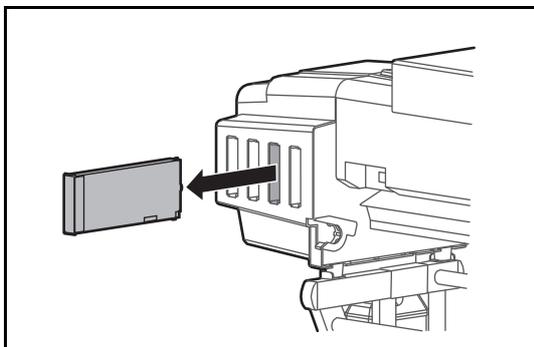
- ・エラー LED が消灯します。
- ・MSM 上のメッセージが消去されます。

Note

この操作は MSM から行うことも可能です。

👉 MUTOH Status Monitor 取扱説明書

[3]



- ・付属のポリエチレン手袋をはめ、すべてのインクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。
- ・インクカートリッジの有効期限を確認します。

- [4] インクカートリッジの有効期限が切れている場合は、インクカートリッジを交換します。

インクカートリッジの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。
印刷が一時停止します。新しいインクカートリッジに交換すると印刷を再開します。

警告

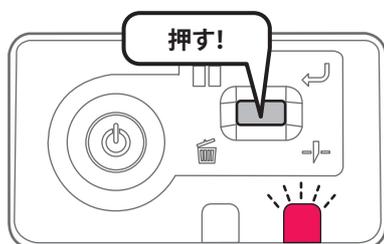
- インクカートリッジは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。

Important!

- 本製品の電源がオフになっている場合は、インクカートリッジを交換しないでください。
インク残量の検出が正しくできなくなります。
- インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

手順

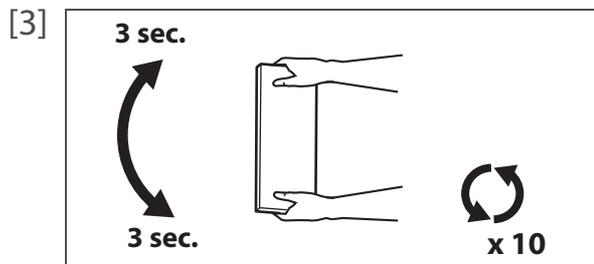
[1]



- 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
- ・ブザーが停止します。

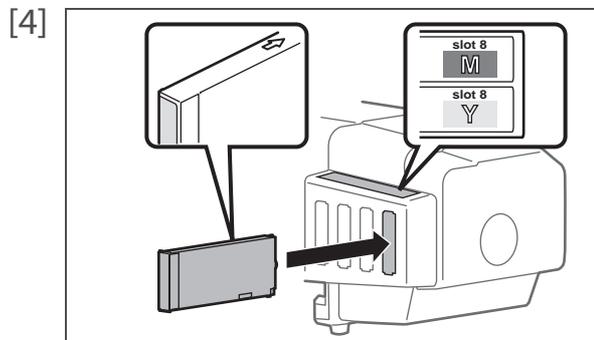
- [2] 交換するインクカートリッジを確認します。
- ・ [ステータス情報] も確認します。





インクカートリッジは、開封後にならずかくはんしてください。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・10 回繰り返します。



空のインクカートリッジを抜き、新しいインクカートリッジを差し込みます。

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

廃液タンクを空にする

一定量のインクを使用すると、本製品は操作パネルのエラー LED を点灯し、ブザーを鳴らします。廃液タンクの廃インクを、PET ボトルなどに移して排出してください。

⚠ 注意



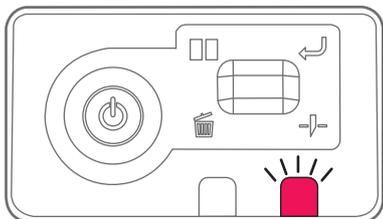
インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

📢 Important!

本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

手順

[1]



エラー LED の点灯を確認します。

[2]

MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

👉 [「MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法」P.13](#)

[3]

[プリンタステータス] タブの [ステータス情報] を確認します。
・廃液タンクが満タンになっているメッセージが表示されます。



[4]

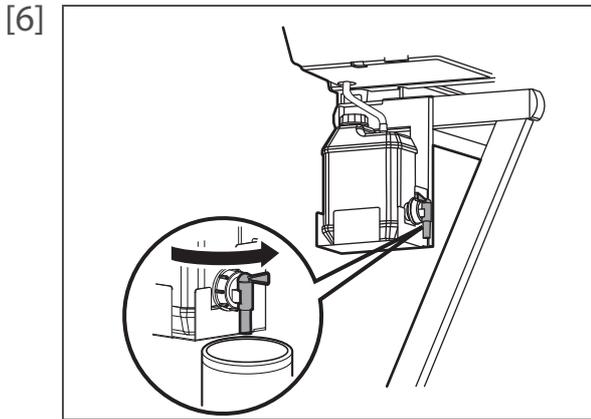
別売品の廃液タンクなど、廃液を移し替える容器を用意します。

📢 Important!

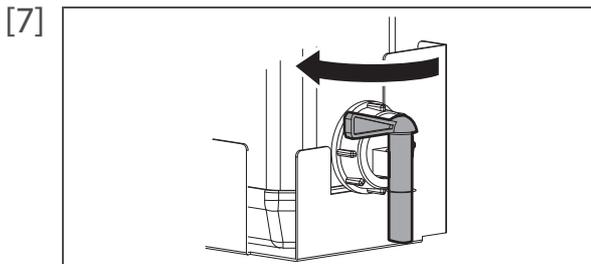
廃液タンクの容量は 2,000 ml です。廃インクの排出時は、十分な容量の容器を用意してください。

[5]

いらない用紙などを廃液タンクの下にしまします。



廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。



廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。

[8] 廃液コックの口を布などでふき取ります。

[9] 廃液は産業廃棄物として処理します。

警告



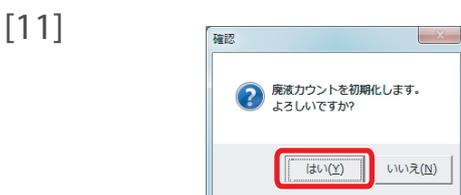
プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

[10] 「廃液初期化」をクリックします。
・確認ウィンドウが開きます。



Note

「廃液初期化」はプリンタードライバーの [ユーティリティ] - [メンテナンス] からも行えます。



[はい] をクリックします。
・廃液カウントをゼロにします。

デイリーメンテナンス

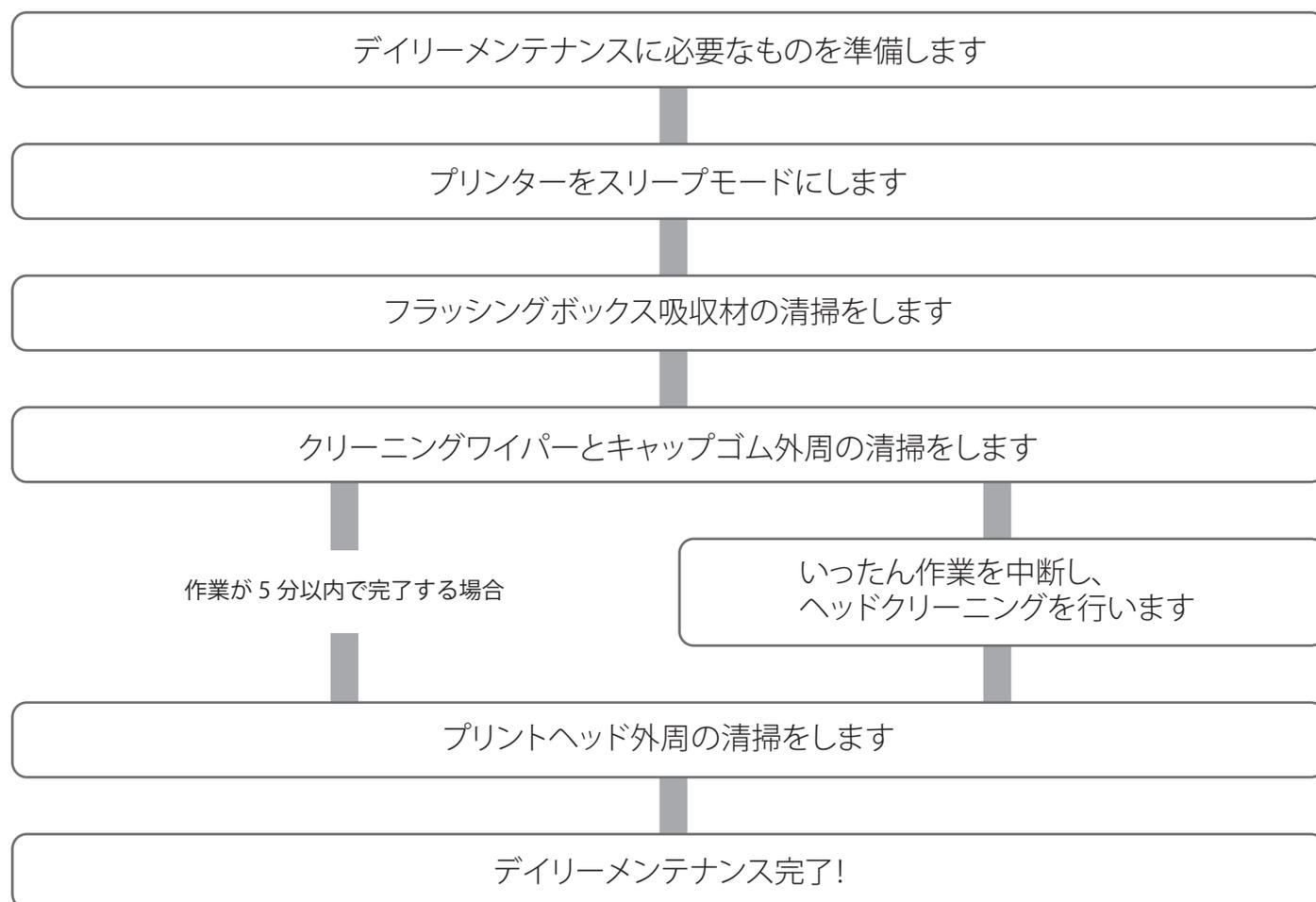
デイリーメンテナンスの流れ

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

1日の作業終了後に、以下の流れに従ってデイリーメンテナンスを行ってください。



スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合も、1日に1回、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。スリープモードにしない場合は、「[印刷を継続する場合](#)」P.73を参照して、各部の清掃を行ってください。メンテナンス終了後、スリープモードに移行しません。



インク汚れやほこりが見えるときは、内部の清掃を行ってください。

[内部の清掃](#)

デイリーメンテナンスの準備

用意するもの

[1] デイリーメンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。



Note

クリーンスティックは、清掃箇所によって保管方法が異なります。保管方法にあわせて2本以上用意してください。

Important!

- ・ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- ・スポイト用プラスチックカップは、ボトルからメンテナンス液を直接取ることができない場合に使用してください。取り分けたメンテナンス液が余った場合は、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- ・専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

👉 「お問い合わせ先」P.97

[2] ポリエチレン手袋を着用します。



スリープモードにする

[1] MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

👉 「MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法」P.13



[スリープモード] - [スタート] をクリックします。
 ・確認ウィンドウが開きます。

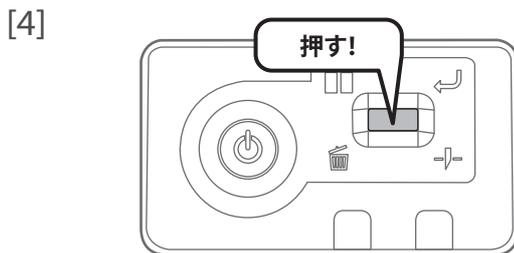


Note

プリンタードライバーからもスリープモードを開始できます。

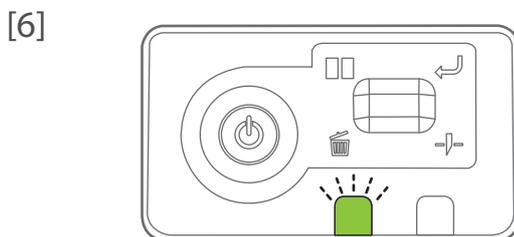


[はい] をクリックします。



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

[5] 自動でクリーニングを行います。
 ・クリーニング終了後、キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



データ LED が点滅します。
 ・フロントカバーを開きます。



Important!

- ・デイリーメンテナンスの作業時間の目安は 5 分以内です。
 作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・作業時間が 5 分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

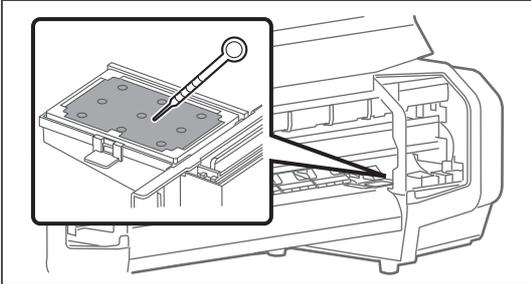
デイリーメンテナンスを行う

Important!

デイリーメンテナンスを行うときは、以下を守ってください。

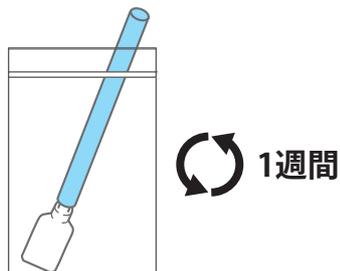
- クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- プリントヘッド表面を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ずクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから拭き取ってください。専用メンテナンス液以外で拭き取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

1. フラッシングボックス吸収材を清掃する

[1]  スポイトを使用して、メンテナンス液をフラッシングボックス吸収材全体に垂らします。
・使用量目安：3.0 ml

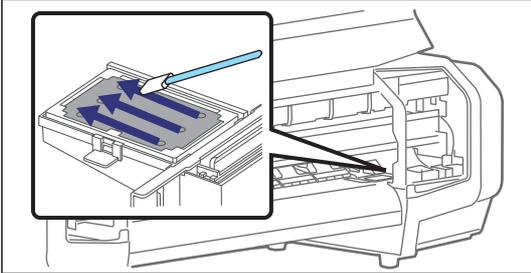
 **Note**
クリーンスティック用プラスチックカップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。

[2] フラッシング吸収材を清掃するクリーンスティックを用意します。



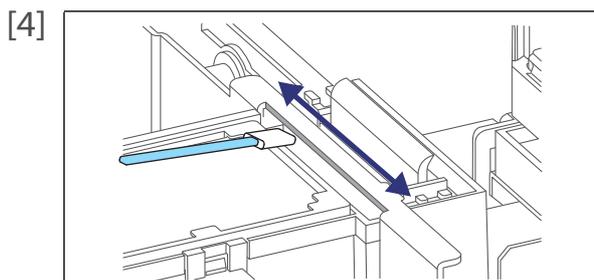
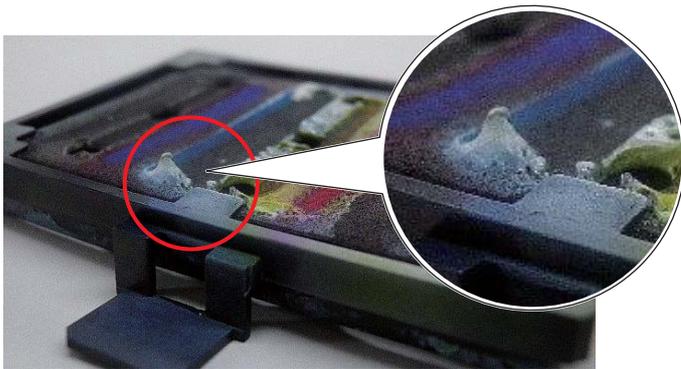
Important!

クリーンスティックの使用目安は1週間です。1週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。

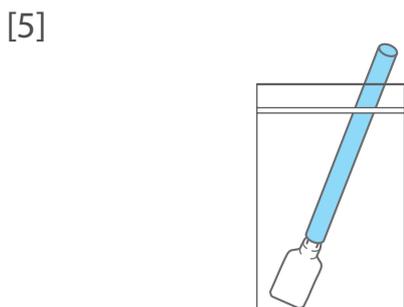
[3]  クリーンスティックを使用して、フラッシングボックス吸収材全体を拭き取ります。

インクのかたまりが堆積し、クリーンスティックを使っても取り除けない場合は、フラッシングボックス吸収材を交換してください。

👉 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 78



フラッシングボックスとクリーニングワイパーとの間の部品のへりに付着したインクを拭き取ります。

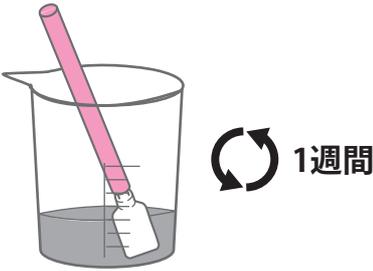


清掃後、フラッシングボックス吸収材を清掃したクリーンスティックは、チャック付き袋に入れて保管してください。

 Note

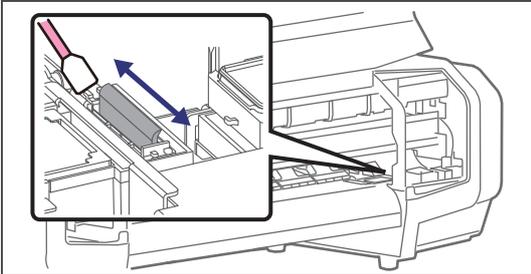
クリーンスティックにホコリが付着しないように、袋のチャックをしっかりと閉めて保管してください。

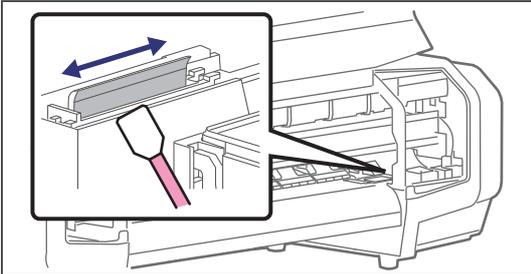
2. クリーニングワイパーとキャップゴム外周を清掃する

- [1]  クリーニングワイパー、キャップゴム外周を清掃するクリーンスティックを用意します。
- ・クリーンスティック用プラスチックカップにメンテナンス液を 30 ml 注ぎ、クリーンスティックを浸します。

Important!

- ・クリーンスティックの使用目安は 1 週間です。1 週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。
- ・専用メンテナンス液は、必ず 1 週間ごとに交換してください。清掃中に、クリーンスティックが汚れた場合は、専用メンテナンス液に浸して、洗浄してください。

- [2]  クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。
- ・クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。

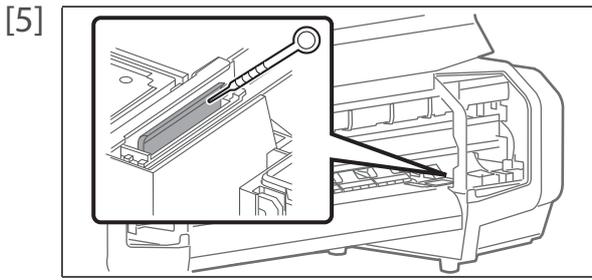
- [3]  クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。

- [4] クリーニングワイパー周辺部がきれいになっているか確認します。
クリーニングワイパー左側



クリーニングワイパー右側



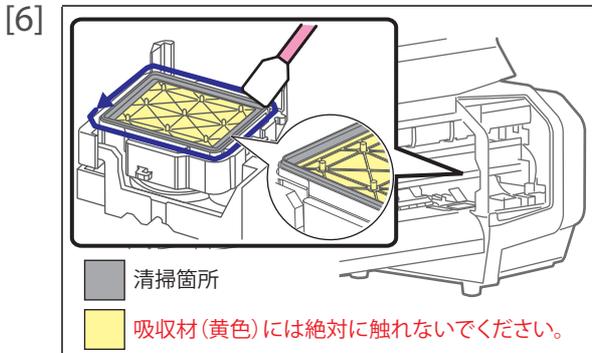


スポイトを使用して、汚れていないメンテナンス液をクリーニングワイパー全体に垂らします。

・使用量目安：5.0 ml

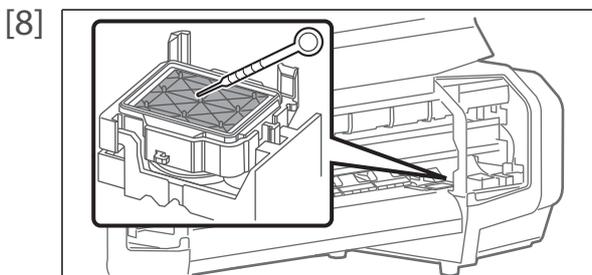
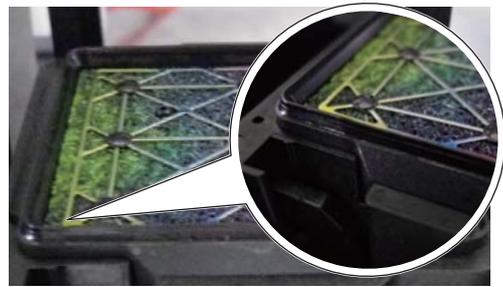
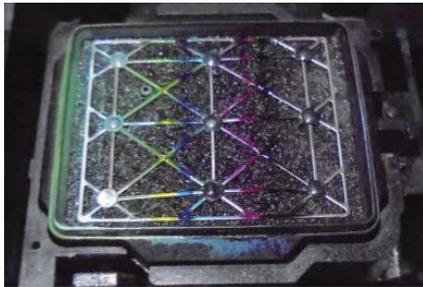


クリーンスティック用プラスチックカップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



クリーンスティックを使用して、キャップゴム外周と、キャップゴムのふちに付着したインクやホコリを拭き取ります。

[7] キャップゴムがきれいになっているか確認します。

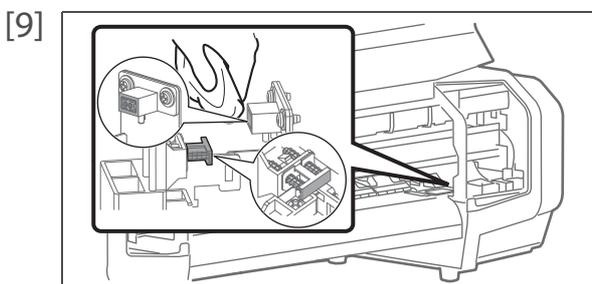


スポイトを使用して、汚れていないメンテナンス液をキャップ吸収材全体に垂らします。

・使用量目安：1.5 ml



クリーンスティック用プラスチックカップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



ペーパータオルをメンテナンス液数滴で湿らせ、エアバルブに付着したインクを完全に拭き取ります。



メンテナンス液が直接手に触れないように、ポリエチレン手袋を着用して作業を行ってください。

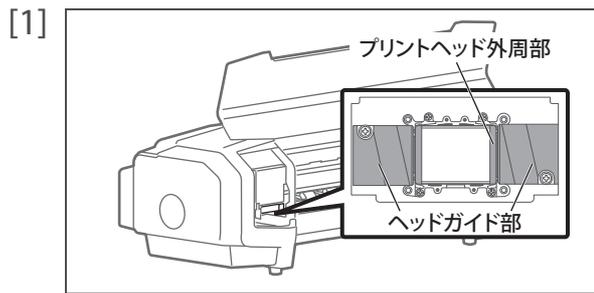
[10] 引き続き、プリントヘッド外周の清掃を行います。

 「プリントヘッド周辺を清掃する」P.71



- ・デイリーメンテナンスの作業時間の目安は5分以内です。
- ・作業時間が5分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

3. プリントヘッド周辺を清掃する



キャリッジの下側を見て、クリーンスティックで清掃します。

- ・プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
- ・ヘッドガイド部（黒色のプラスチック部分）

[2] キャリッジの下側に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃します。

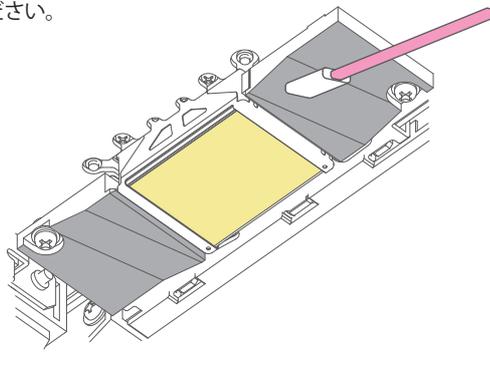
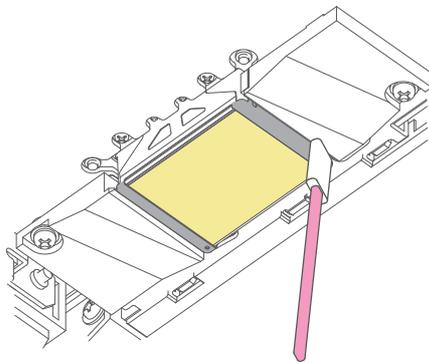
 清掃箇所

 ヘッド面(黄色)には絶対に触れないでください。

プリントヘッド外周(銀色の金属部分)

ヘッドガイド部(黒色プラスチック)

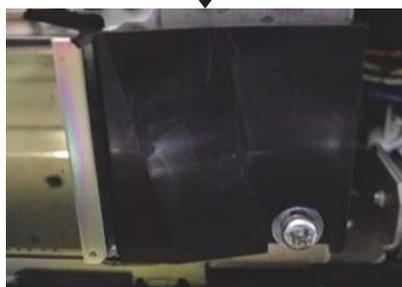
※ヘッドガイド部とヘッドのすき間も清掃してください。



Important!

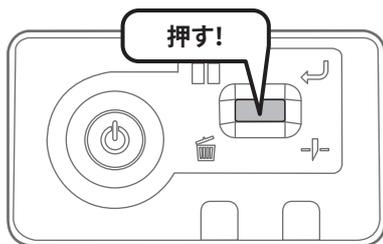
- ・プラテンやメディアガイドにはさわらないようにしてください。温度が高くなっている場合があります。
- ・メンテナンス液が飛び散ってプリンターに付着した場合は、ペーパータオルで拭き取ってください。

[3] プリントヘッド周辺がきれいになっているか確認します。



[4] フロントカバーを閉じます。

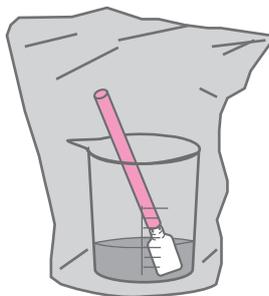
[5]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・ キャリッジが元の位置に移動します。
- ・ スリープモードに移行します。

[6]



清掃後、クリーンスティックはメンテナンス液に浸して保管してください。

 Important!

- ・ 専用メンテナンス液に、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- ・ 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

[7] スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。

[8] 以上で、デイリーメンテナンスを終了します。

印刷を継続する場合

以下の場合、デイリーメンテナンスメニューから各部の清掃を行ってください。

- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくなるとき
- ・ スリープモードにせず、1日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

準備：

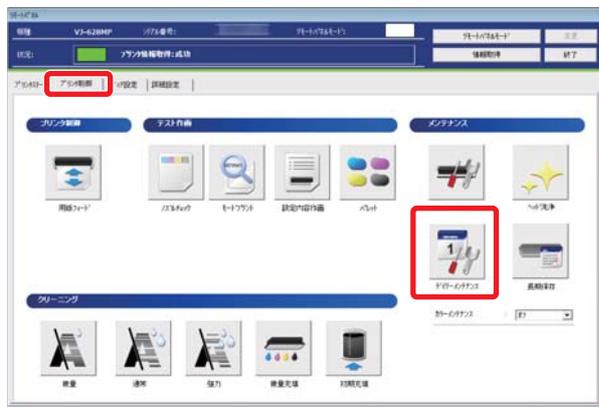
「[デイリーメンテナンスの準備](#)」P.65 を参照して、準備をしてください。

Note

- ・ 以下の手順は、メンテナンス後も印刷を行うときの手順です。
- ・ 1日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、スリープモードにして、メンテナンスを行ってください。

1. デイリーメンテナンス状態にする

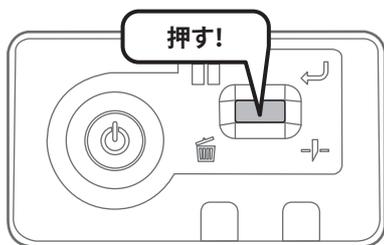
- [1] MSM を起動し、リモートパネルを表示します。
☞ 「[MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法](#)」P.13
- [2] [プリンタ制御] タブをクリックします。
[デイリーメンテナンス] をクリックします。



- [3] [実行] をクリックします。



[4]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

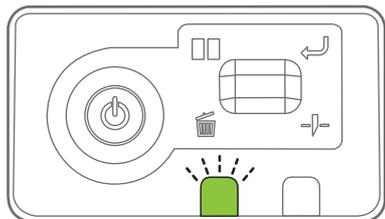
[5]

自動でクリーニングを行います。

- ・クリーニング終了後、キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



[6]



データ LED が点滅します。
・フロントカバーを開きます。

2. 各部の清掃を行う

「デイリーメンテナンスを行う」P.67 を参照して、各部の清掃を行ってください。

-  「フラッシングボックス吸収材を清掃する」P.67
-  「クリーニングワイパーとキャップゴム外周を清掃する」P.69
-  「プリントヘッド周辺を清掃する」P.71

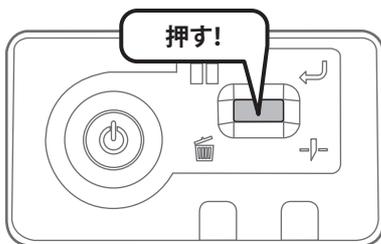
Important!

- デイリーメンテナンスの作業時間の目安は 5 分以内です。
- 作業時間が 5 分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。

3. メンテナンスを終了する

[1] フロントカバーを閉じます。

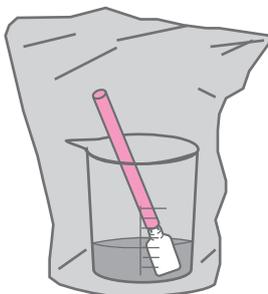
[2]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- キャリッジが元の位置に移動します。

[3]



清掃後、クリーンスティックはメンテナンス液に浸して保管してください。

Important!

- 専用メンテナンス液に、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

[4] スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。

[5] 各部の清掃を終了します。

- [4] ノズルチェックを行います。
・ノズル抜けが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

👉 「ヘッドクリーニングの手順」P.76

Note

- ・通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- ・強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「[デイリーメンテナンスの流れ](#)」P.64を参照してメンテナンスを行ってください。
- ・どうしてもノズル抜けが直らない場合は、「微量充填」を行ってください。

内部の清掃

清掃時期：

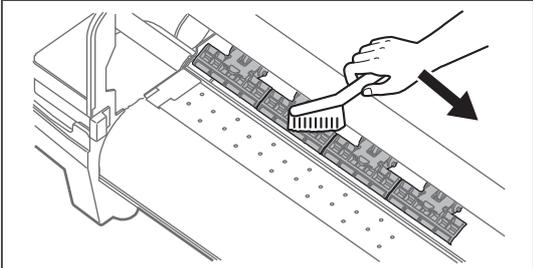
- ・1か月に1度

手順

- [1] フロントカバーを開きます。

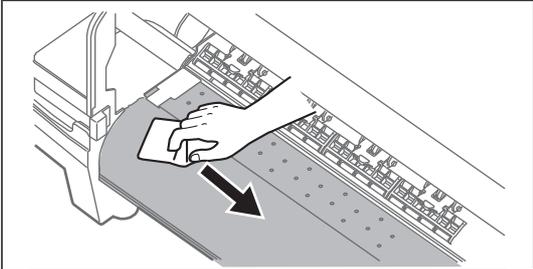
Note

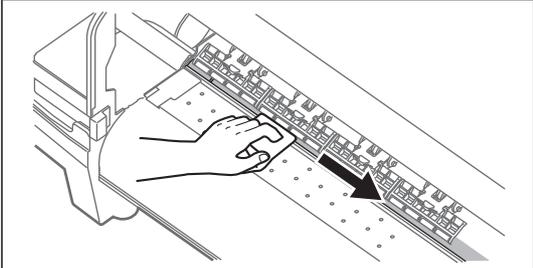
印刷終了直後は、本製品のヒーターの温度が高くなっています。
プラテンやメディアガイドにさわってみて、熱い場合はしばらく時間を置いてから作業を始めてください。

- [2]  柔らかいブラシを使って、加圧アームのホコリを払います。

Important!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。

- [3]  水を含ませてよく絞った柔らかい布で、プラテンとメディアガイドの汚れを取ります。

- [4]  水を含ませてよく絞った柔らかい布で、グリットローラーの銀色部分の汚れを取ります。

- [5] フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

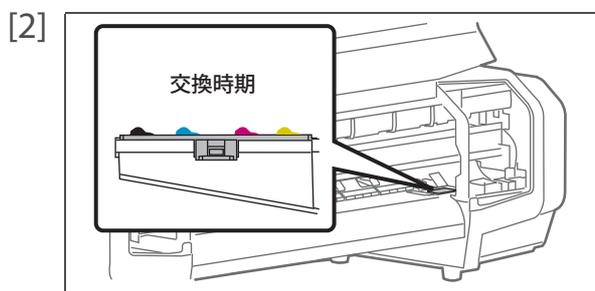
フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用し続けると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- ・ 約2か月（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

1. 確認手順

- [1] フロントカバーを開きます。



フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- ・ インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。
- ・ フラッシングボックスの枠が変形している場合も、交換を行ってください。

- [3] フロントカバーを閉じます。

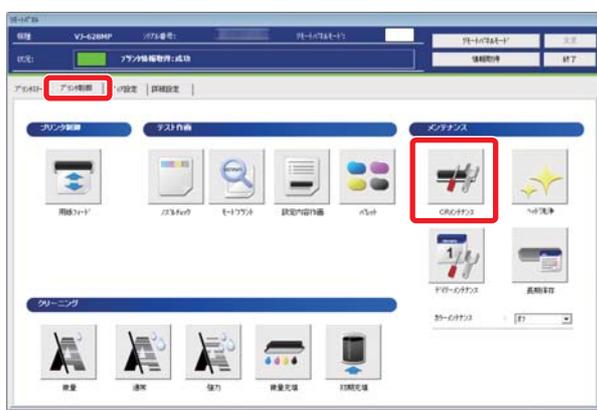
2. 交換手順

CR メンテナンス状態にする

- [1] MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

 [「MUTOH Status Monitor」の起動方法／表示方法／終了方法」P.13](#)

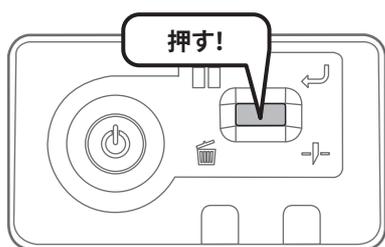
- [2] [プリンタ制御] タブをクリックします。
[CR メンテナンス] をクリックします。



[3] [実行] をクリックします。



[4]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

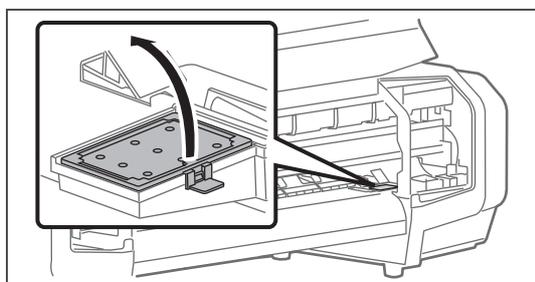
- ・ キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[5] フロントカバーを開きます。

[6] ポリエチレン手袋を着用します。



[7]



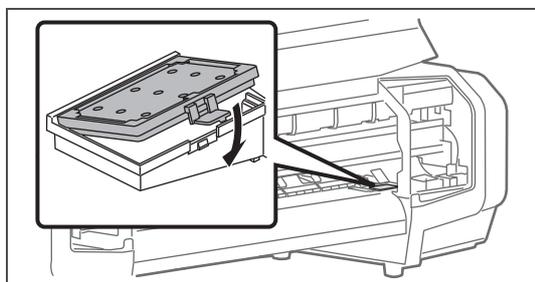
フラッシングボックス用吸収材を取り外します。

- ・ フラッシングボックス用吸収材のツメを持ち上げて、フックを解除してください。

 Important!

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。

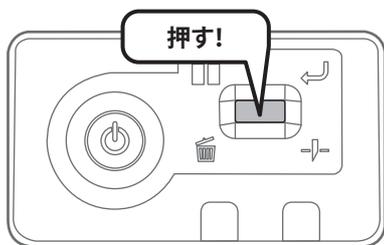
[8]



新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。

[9] フロントカバーを閉じます。

[10]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・ キャリッジが元の位置に移動します。

カッターの交換

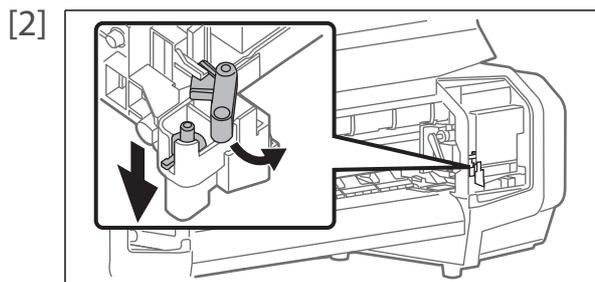
カッターが切れなくなってきたら、新しいカッターと交換してください。

▲ 注意

- ・ カッターのつまみを強く押ししたり、急に離したりしないでください。カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。
- ・ カッターの刃先には触れないでください。けがをする恐れがあります。

手順

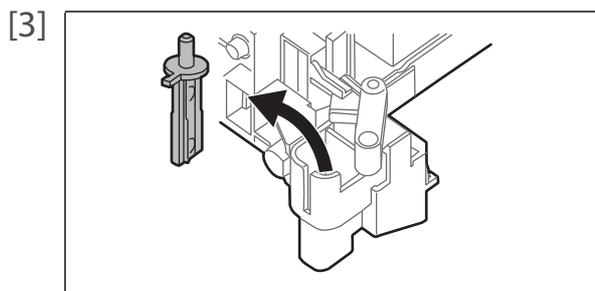
[1] フロントカバーを開きます。



[2]

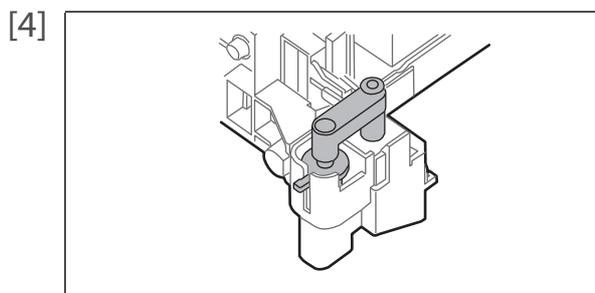
カッター押さえをずらしてカッターが取り出せるようにします。

- ・ カッターのつまみを下に軽く押しながら、カッター押さえを手前にずらします。



[3]

カッターを取り外します。



[4]

新しいカッターを取り付けます。

- ・ カッター押さえを元のようにカッターにセットしてください。

[5] フロントカバーを閉じます。

クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

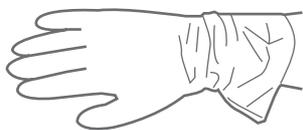
- ・ 約6か月

用意するもの：

- ・ クリーニングワイパー（付属品）
- ・ ポリエチレン手袋（付属品）

手順

- [1] ポリエチレン手袋を着用します。



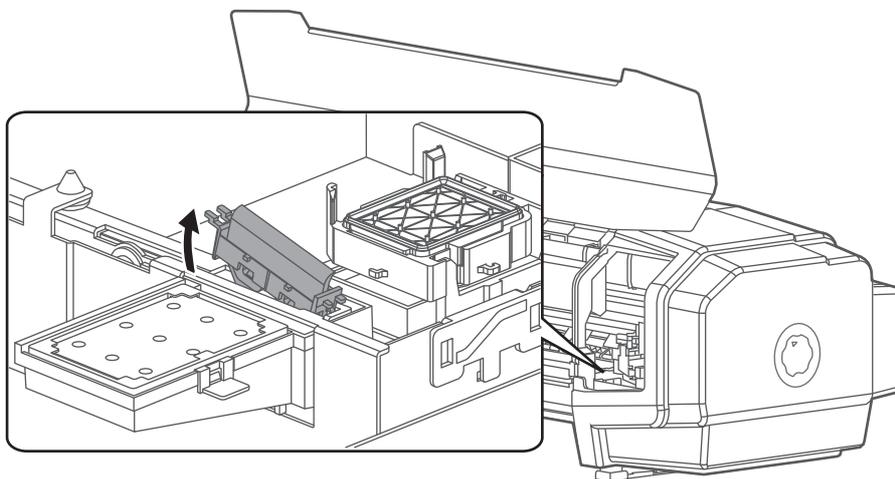
- [2] プリンターをCRメンテナンス状態にします。

 「[CRメンテナンス状態にする](#)」P.78

- [3] フロントカバーを開きます。

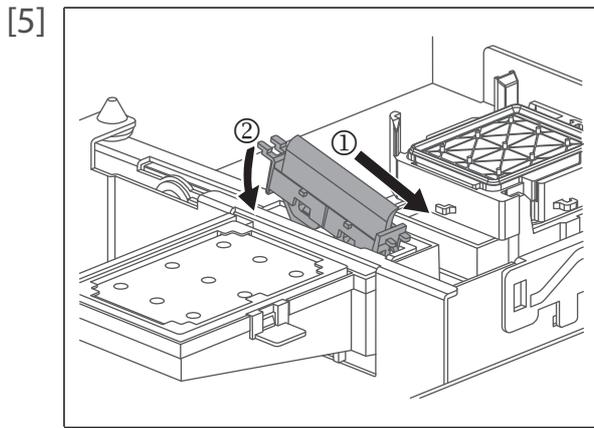
- [4] クリーニングワイパーを取り外します。

- ・ クリーニングワイパーのツメ部をhold上げてフックを解除し、クリーニングワイパーを取り外します。



Important!

クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。

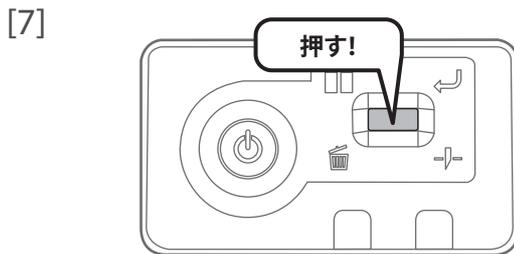


- 以下の手順に従って、新しいクリーニングワイパーを取り付けます。
- ・クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
 - ・クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

 Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。
皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

[6] フロントカバーを閉じます。



- 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
- ・キャリッジが元の位置に移動します。
 - ・手順を終了します。

輸送するとき

本製品を輸送するときは、内部を洗浄液で洗浄し、廃インクを排出し、梱包材でプリントヘッドを固定する必要があります。そのまま輸送すると、インクが漏れたり、プリントヘッドが故障したりする原因になります。

ふたたび使用するときは、再設置作業と初期充填を行います。

👉 「ヘッド洗浄を行う」P.84

👉 「初期充填を行う」P.89

Important!

- ・ 本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。
- ・ 本製品を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

Note

本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

ヘッド洗浄を行う

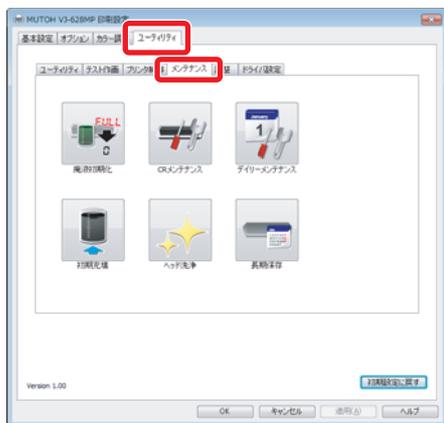
必要なもの：

- ・ 洗浄液カートリッジ (8つ)

[1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

[2]



[ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。

[3]



[ヘッド洗浄] をクリックします。

- ・ MSMのリモートパネルが開きます。

Note

MSMは直接起動することができません。

☞ 「MSMの起動方法」P.13

[4] [ヘッド洗浄] タブで [実行] をクリックします。

- ・ 画面にそってヘッド洗浄処理を行ってください。



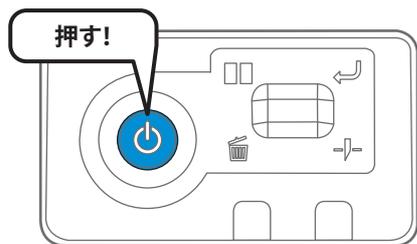
[5] 廃液タンクを空にします。

☞ 「廃液タンクを空にする」P.62

[6] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

☞ 「デイリーメンテナンスの準備」P.65

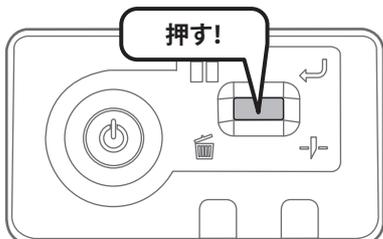
[7]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点滅します。

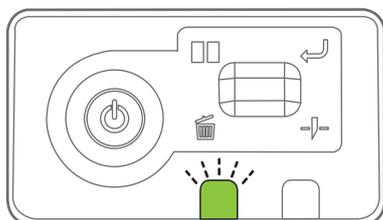
[8]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・自動でクリーニングを行います。
- ・キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[9]



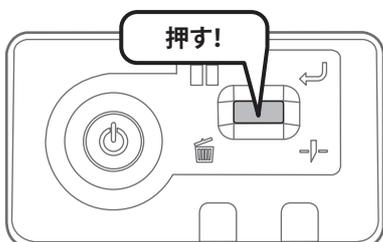
データ LED が点滅します。

- ・フロントカバーを開きます。

[10] デイリーメンテナンスを行います。

☞ 「デイリーメンテナンスを行う」P.67

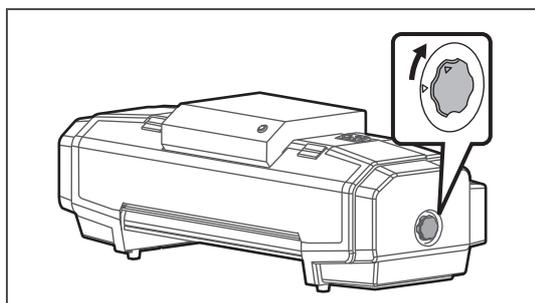
[11]



メンテナンス終了後、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[12]



メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

 Note

電源オフにかかわらず、本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。

長期保存と初期充填

長期間使用しないときには

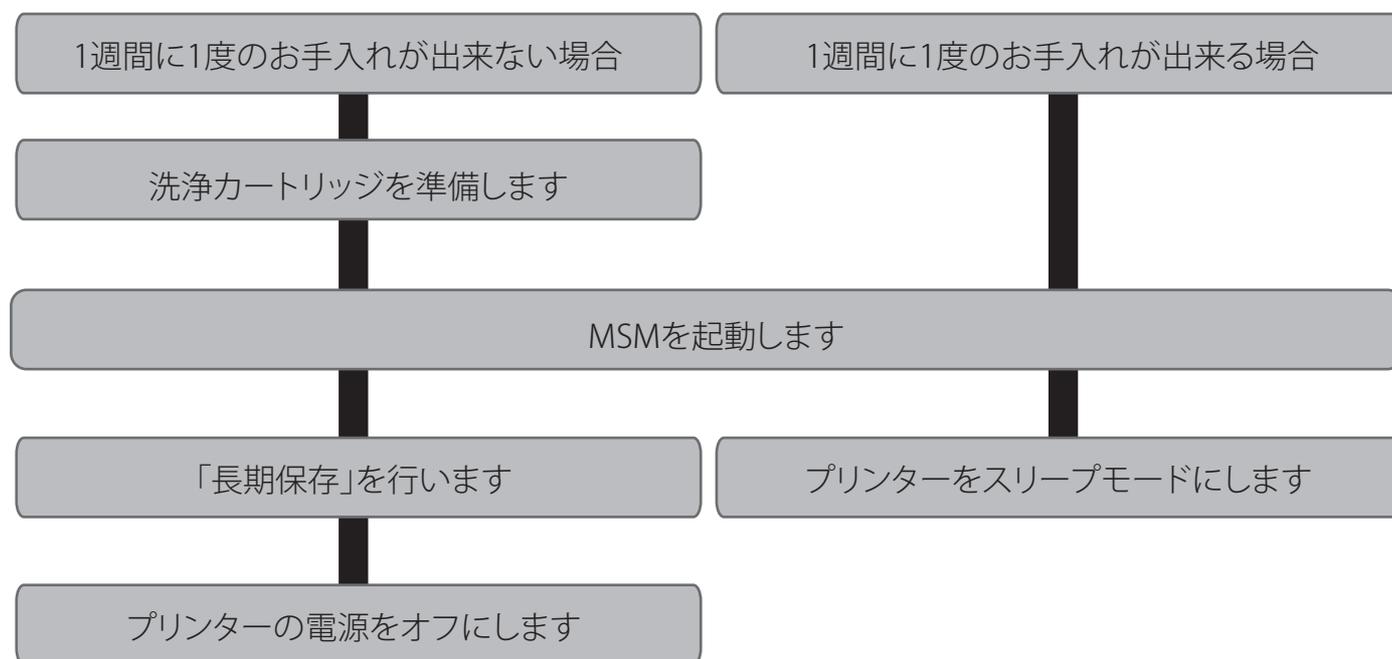
1週間に1度のお手入れが出来ない場合は長期保存を行ってください。
長期保存はヘッド洗浄から1ヶ月間（30日）まで放置することができます。

Note

1週間に1度のお手入れが出来る場合は、スリープモードで保存することができます。

👉 「スリープモードの開始と終了」P.20

長期保存の流れは、以下の通りです。



Important!

かならずデイリーメンテナンスを行ってから、電源をオフにしてください。
デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフにすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

長期保存を行う

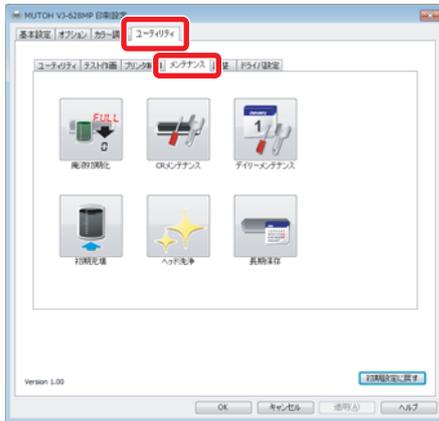
必要なもの：

- ・ 洗浄液カートリッジ (8つ)

[1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」 P.12

[2] [ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。



[3] [長期保存] をクリックします。

- ・ MSM のリモートパネルが開きます。

Note

MSM は直接起動することができません。

☞ 「MSM の起動方法」 P.13

[4] [長期保存] タブで [実行] をクリックします。

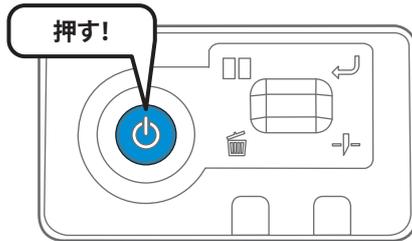
- ・ 画面にそって長期保存処理を行ってください。



[5] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

☞ 「デイリーメンテナンスの準備」P.65

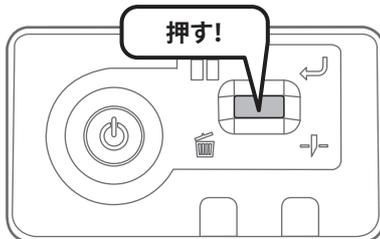
[6]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点滅します。

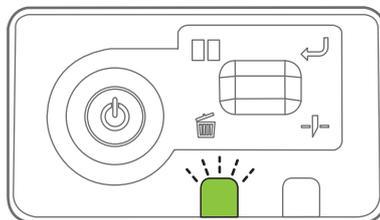
[7]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・自動でクリーニングを行います。
- ・キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[8]



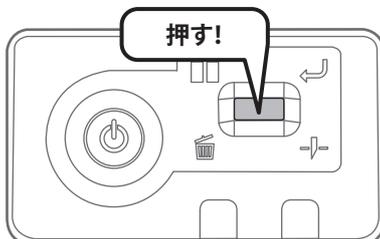
データ LED が点滅します。

- ・フロントカバーを開きます。

[9] デイリーメンテナンスを行います。

☞ 「デイリーメンテナンスを行う」P.67

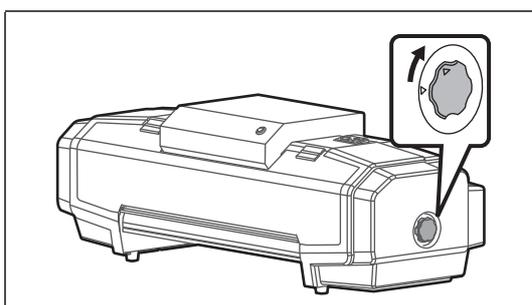
[10]



メンテナンス終了後、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・本製品が電源オフ動作を開始します。
- ・青色のランプが消灯します。

[11]



メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

Note

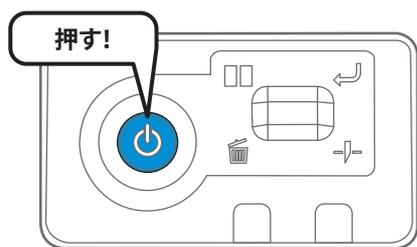
電源オフにかかわらず、本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。

[12] 再び使用するときには、初期充填を行います。

☞ 「初期充填を行う」P.89

初期充填を行う

[1]



本製品の電源ボタンをオンします。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

[2] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

👉 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.12

[3]



[ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。

[4]



[初期充填] をクリックします。

- ・MSMのリモートパネルが開きます。

Note

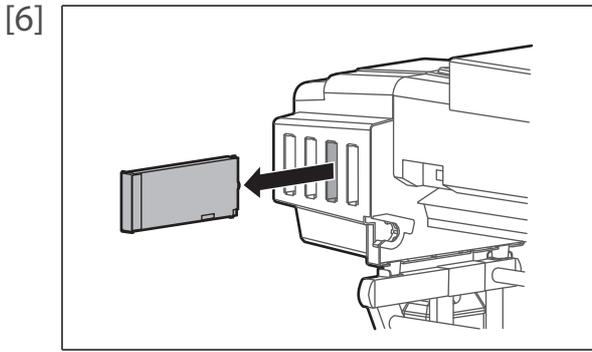
[初期充填] は MSM のリモートパネルの [プリンタ制御] タブからも実行できます。

👉 「MSMの起動方法」P.13

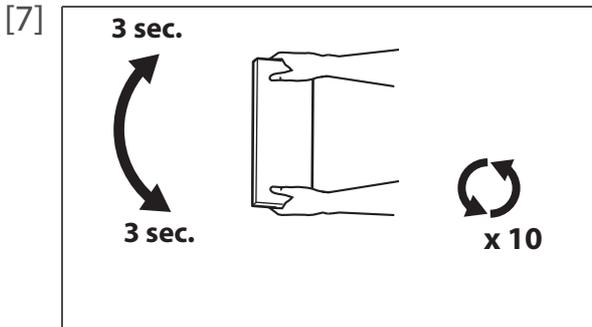
[5] 廃液タンクを空にしてから、[実行] をクリックします。

👉 「廃液タンクを空にする」P.62





カートリッジスロットに洗浄液カートリッジが挿入されている場合は、すべて抜きます。

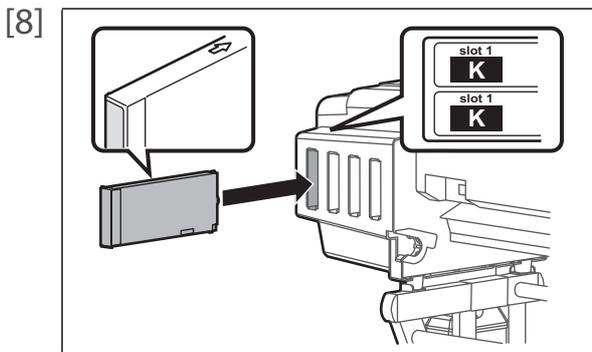


インクカートリッジは、開封後にかかわらずかくはんしてください。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・10 回繰り返します。

Important!

かならず新しいインクカートリッジを使用してください。インク残量が不十分なインクカートリッジを使用すると、初期充電中にインクエンドとなり、再充電によるインク損失が発生します。



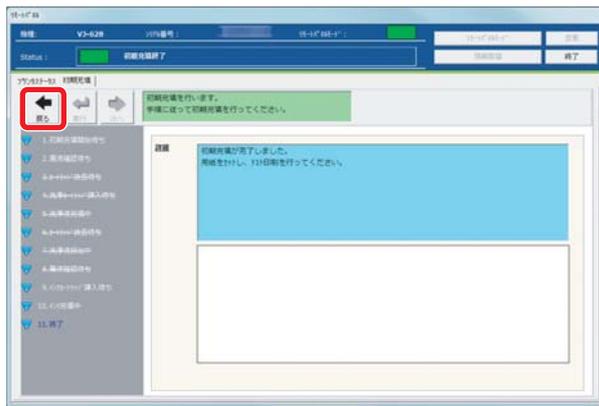
インクカートリッジを本製品に差し込みます。

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

Note

すべてのインクカートリッジを差し込むと、本製品がインク充填を開始します。

- [9] [終了] 画面で [戻る] をクリックします。
- ・初期充填を終了します。



第4章 付録

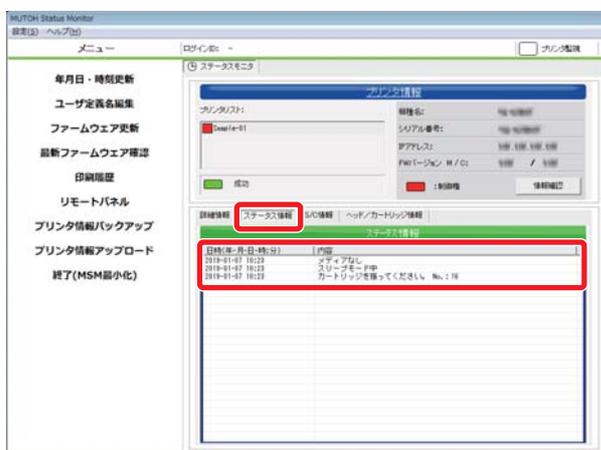
困ったときには.....	94
メッセージ/エラーメッセージへの対応.....	94
メディアが詰まった場合.....	98
お問い合わせ先.....	99
本製品の仕様.....	100
作画領域.....	100
仕様一覧.....	101
改訂履歴.....	103

メッセージ／エラーメッセージへの対応

メッセージ／エラー／ワーニングを確認する

本製品が正常に動作しているときのメッセージや、問題が起きた場合のエラー／ワーニングを確認するには、MSMを使用します。

- [1] MSM を起動します。
☞ 「MSM の起動方法」P.13
- [2] [ステータス情報] を確認します。
 - ・メッセージ／エラー／ワーニングの内容が表示されます。
 - ・対処方法が表示された場合は、表示に従ってください。



Note

- ・ MSM のリモートパネルを起動している場合は、[プリンタステータス] - [ステータス情報] でも同様に確認できます。
- ・ エラー状態のときは、動作を一時停止する場合があります。エラーの原因を取り除くと、動作を再開します。

操作パネルのメッセージ表示

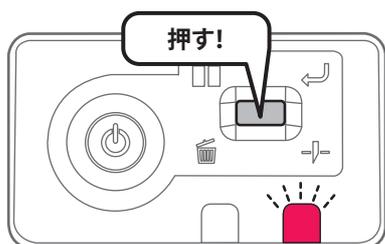
操作パネルのエラー LED が点灯します。

- [1] メッセージの内容を、MSM で確認し、対処してください。
☞ 「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.92

操作パネルのエラー表示

操作パネルのエラー LED が点灯（ワーニング状態のときは点滅）し、ブザーが鳴ります。

[1]



ブザーが鳴り続けている場合は、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・ブザーが停止します。

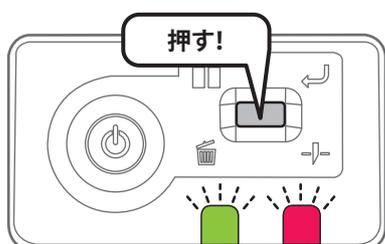
[2] エラー／ワーニングの内容を、MSM で確認し、対処してください。

👉 「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.92

エマージェンシーモード状態

重大な障害が起きると、操作パネルのデータ LED とエラー LED が同時に点滅し、ブザーが一定間隔で鳴ります。

[1]



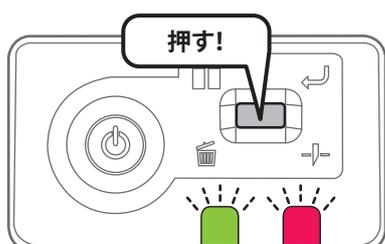
操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・ブザーが停止します。

[2] 重障害エラーの内容を、MSM で確認してください。

👉 「エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する」P.94

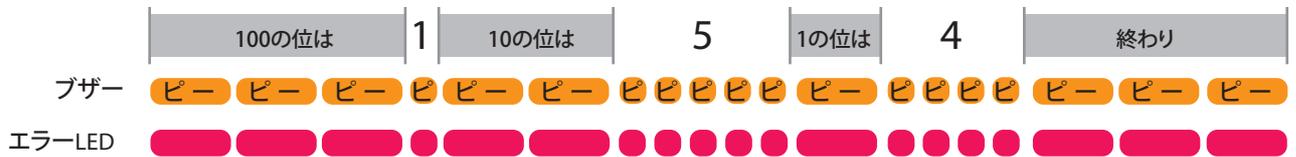
- ・確認できた場合は、[5] に進みます。
- ・ステータスマニターが見られない場合は、[3] に進みます。

[3]



ステータスマニターが見られない場合は、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・LED とブザーが規則的なパターンで点滅・鳴ります。
このパターンはエラーの番号を示しています。

- [4] ブザーの短く鳴る回数（または、LED の短く点滅する回数）を数えます。
- ・エラー番号は 3 桁です。
 - ・長く鳴るブザーがエラー番号の桁を示し、その後に短く鳴るブザーがエラー番号を示します。
 - ・例えば、154 番のエラーは、次のパターンになります。
- 長く 3 回、短く 1 回、長く 2 回、短く 5 回、長く 1 回、短く 4 回、長く 3 回



Note

- ・パターンは繰り返しません。もう一度確認するときは操作パネルのオペレーションキーを短押ししてください。
- ・ある桁のエラー番号が「0」のときは、長いブザー（桁数を示すブザー）だけが鳴り、一定時間の無音の後に、次の桁を示す長いブザーが鳴ります。LED も長い点滅のみで、短い点滅をせずに次の長い点滅に移ります。

- [5] 以下を確認してください。
- ・フロントカバーを開けて、メディアが詰まっている場合は、取り除いてください。
 - ・交換した部品があれば、正しく取り付けられているか確認してください。
- [6] 本製品の電源をオフにして、10 秒以上たってから電源をオンにします。
- ・再起動後に同じエラーが起きる場合は、MUTOH カスタマーサポートまでご連絡ください。
- 👉 [「お問い合わせ先」P.97](#)

エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する

- [1] MSM を起動します。
- 👉 [「MSM の起動方法」P.13](#)
- [2] [プリンタ情報] と [詳細情報] を確認します。
- ・重障害エラーの内容と対処方法が表示されます。



スマートチップリカバリー

MSM に以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

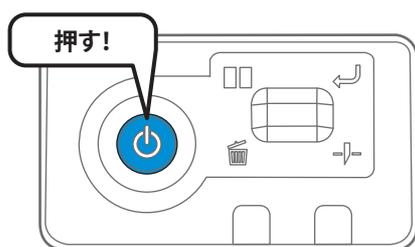
表示	内容
S/C カード認識エラー No.:*****	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。 ・インクカートリッジを挿し直して、新たに「正しい色が確認してください No.:****」が表示された場合は、「正しい色が確認してください No.:****」の内容に従って操作してください。
正しい色が確認してください No.:****	スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。 ・間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿し直してください。 ・正しいインクカートリッジが挿入されている場合、オペレーションキーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。この操作は MSM から行うことも可能です。  MUTOH Status Monitor 取扱説明書

Note

スマートチップリカバリー実行中は、MSM の S/C 情報において、対象のカートリッジ No. が黄色く表示されます。

メディアが詰まった場合

[1]

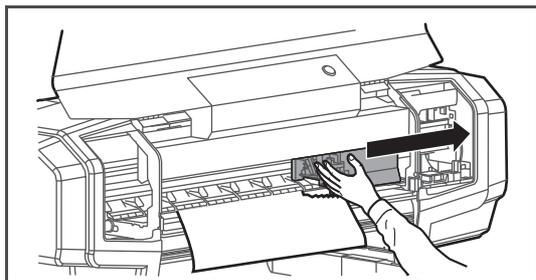


本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが消灯します。
- ・本製品が電源オフ動作を開始します。

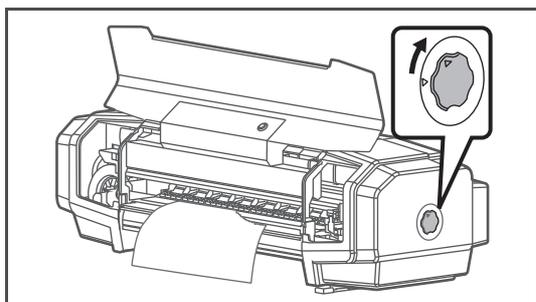
[2] フロントカバーを開きます。

[3]



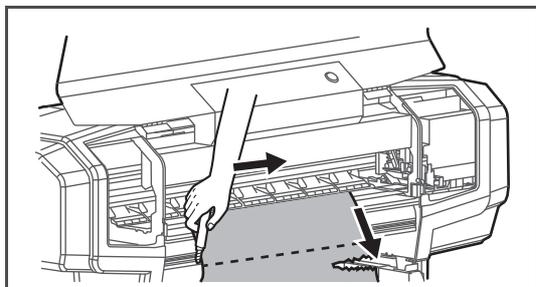
キャリッジをメディア上から右へ移動します。

[4]



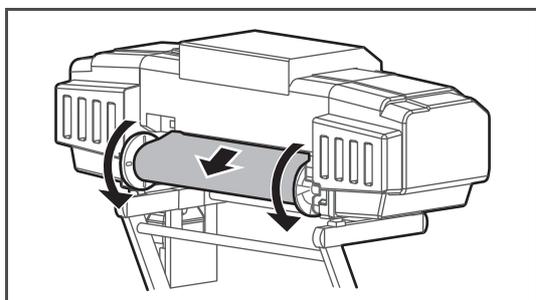
メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

[5]



メディアを引き出して、破れた部分をカッターでカットします。

[6]



スクローラーの両端を持って、メディアを手で巻き戻します。

[7] 本製品の内部にちぎれたメディアや異物が残っている場合は、取り除きます。

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

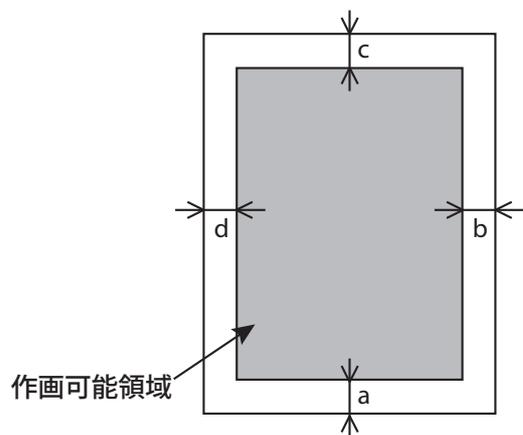
E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

作画領域



a=5mm *1 *2
b=5mm~25mm *3
c=5mm
d=5mm~25mm *3

*1 メディアイニシャル、マニュアルバックフィード後、貼り付き防止処理後は15mmで印刷を開始。

*2 メディアイニシャル先端オン時、オートカット時は40mmで印刷を開始。

*3 リモートパネル設定による

仕様一覧

機種名	VJ-628MP	
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式	
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モータ駆動	
給紙方式	水平搬送、ロール紙、本製品後方からのセット、給紙操作で前方排紙、外巻き限定	
メディア固定	メディア固定ハンドルによる加圧ローラダウン方式	
使用できるメディア	ロール紙外径	150 mm
	ロール紙重量	9 kg 以下
	最大用紙幅	630 mm (紙管 > 用紙幅の場合は紙管幅)
	最大用紙厚さ	ヘッド高さ「低い」設定時：最大 0.3 mm ヘッド高さ「高い」設定時：最大 1.3 mm
最大印刷幅	620 mm	
メディアカット方式	オートカットまたはマニュアルカット	
ヒーター	メディアガイド下に設置、オフ /30 °C ~ 45 °C	
ヘッド高さ調整	「低い」 / 「高い」 の 2 段階	
CPU	64bit RISC CPU	
メモリ	256MB	
インターフェース	Ethernet (10/100BASE-TX)	
インク	色	4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 5 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト) 6 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ) 7 色 (WH) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト) 7 色 (ライト色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック) 7 色 (特色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、オレンジ、ブルー、グリーン) 8 色 (ライト色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック、ホワイト) 8 色 (特色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、オレンジ、ブルー、グリーン、ホワイト)
	種類	220ml インクカートリッジ、500ml インクパック (特色は 220ml インクカートリッジのみ)
廃液タンク	脚固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃インク排出	

環境条件	動作環境	温度：20℃～32℃、湿度：40%～60%（結露なきこと）
	印刷精度保証範囲	温度：22℃～30℃、湿度：40%～60%（結露なきこと）
	変化率	温度：1時間あたり2℃以内 湿度：1時間あたり5%以内（結露なきこと）
	保存環境	インク未充填保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80%（結露なきこと） インク充填保存：30日以内 （取扱説明書記載のデイリーメンテナンスを行うこと） 温度：5℃～30℃、湿度：20%～80%（結露なきこと）
電源	プリンター	電圧：AC 100V～120V ±10% / 200V～240V ±10% 周波数：50Hz / 60Hz ±1Hz 容量：7.0 A 以上 電圧切り替え： 100V/200V セレクタースイッチによる手動切り替え 出荷時の設定は 200V
	ブロアヒーター	電圧：AC 100V～240V ±10% 周波数：50Hz / 60Hz ±1Hz 容量：4.0 A 以上
消費電力	プリンター	電源オフ： AC100V～120V、1 W 以下 AC200V～240V、1.1 W 以下 オペレーション：830 W 以下
	ブロアヒーター	電源オフ： AC100V～120V、1 W 以下 AC200V～240V、4.0 W 以下 オペレーション：350 W 以下
消費電流	プリンター	AC100V～120V：6.5 A 以下 AC200V～240V：3.5 A 以下
	ブロアヒーター	AC100V～120V：3.5 A 以下 AC200V～240V：1.8 A 以下
外形寸法	高さ	1,209 mm（カバーオープン時：1,373 mm）
	幅	1,190 mm
	奥行き	690 mm
質量	本体	37 kg
	脚部	8.7 kg

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2018.2	00	VJ628MPJ-A-00	V.1.00
2018.3	01	VJ628MPJ-A-01	V.1.00
2019.3	02	VJ628MPJ-A-02	V.1.03
2019.10	03	VJ628MPJ-A-03	V.1.04
2020.03	04	VJ628MPJ-A-04	V.1.04
2020.07	05	VJ628MPJ-A-05	V.1.04
2020.08	06	VJ628MPJ-A-06	V.1.05
2021.3	07	VJ628MPJ-A-07	V.1.05
2021.7	08	VJ628MPJ-A-08	V.1.07
2021.8	09	VJ628MPJ-A-09	V.1.08
2021.12	10	VJ628MPJ-A-10	V.1.09
2022.2	11	VJ628MPJ-A-11	V.1.09
2022.5	12	VJ628MPJ-A-12	V.1.10
2023.4	13	VJ628MPJ-A-13	V.1.12
2024.3	14	VJ628MPJ-A-14	V.1.13
2024.6	15	VJ628MPJ-A-15	V.1.14 以降

MUTOH